

第 三 號		關		決行指定	決裁指定	保存期限 永久
房官臣大		課局務主		件名		
了結	領受	出提	領受	番 受		
昭和六年	昭和 年 月 日	昭和三年十月八日	昭和 年 月 日	領 號		
(裁決)行決後		帶 連		武部一九九三		
長局		長局		起元應(課)名		
長課		長課		兵器局統制課		
				兵器取扱規則改正ノ件		
				大臣		
				局長 主務		
				次官		
				政務次官		
				參與官		
				書記官		
				審案		
				筆記者		

政務次官 同付 決裁 前連帶 後課名 決行(決裁)後 同課名

軍省 8. 12. 4. 前 33. 12. 8. 504 軍事課

陸軍第

別冊

陸軍第四十五號

號

陸軍大臣官印

兵器取扱規則別冊ノ通改正ス

官製用分納

昭和三年十二月日

陸軍大臣

(別冊略ス)

一改正書ハ官房ニ於テ印刷ノ上甲ニ依リ配賦セラレ度

1168

兵器取扱規則改正案

昭和三年九月一日

- 一、兵器取扱規則改正要旨
- 二、管理者ハ兵器使用ニ關スル權限範圍ヲ擴張セリ
- 三、管理兵器検査ノ實施區分ヲ明瞭ニシ且検査回数ノ制限ヲ解キ適時之ヲ實施シ得ルコトセリ
- 四、繁雜ナル第二類分數交換制ヲ廢シ第二類定額表ニ依リ現品ヲ支給スルト共ニ要スレハ第二類兵器ノ費用ヲ以テ第三類ヲモ新調シ得ル如ク其ノ範圍ヲ擴張セリ
- 五、運搬ニ關スル事項ハ陸軍大臣ノ認可ヲ要スルコトトシ兵器廠及航空本部ノ力統一ヲ圖リ且事務簡捷上運搬費支拂ニ關スル兵器本廠業務ノ一部ヲ兵器部要密司令部ニ移セリ
- 六、諸計畫ヲ比較的詳細ニ指示シ準據スヘキ事項ヲ増加ス
- 七、兵器ノ支給交換及修理ノ諸手續ヲ簡易ニセリ
- 八、制度ノ創設及改正ニ基キ一部ニ修正ヲ加ヘタリ

第一章	總則
第二章	管理保管及主管
第三章	檢查
第四章	支給交換及返納
第五章	使用
第六章	新調修理貯藏及手入
第七章	亡失毀損檢定及處分
第八章	運搬
第九章	費用
第十章	諸計畫及書類
第十一章	雜則
附表	

- 第一 兵器類別表
- 第二 兵器管理保管區分表
- 第三 兵器廠管掌部隊區分表
- 第四 支給交換返納取扱區分表
- 第五、一 演習用彈藥個人支給定數表(步兵聯隊)
- 第五、二 演習用彈藥個人支給定數表(騎兵聯隊)
- 第五、三 演習用彈藥個人支給定數表(步兵及騎兵聯隊)
- 第五、四 演習用彈藥隊支給定數表(砲兵隊ヲ除ク)
- 第五、五 演習用彈藥隊支給定數表(砲兵隊)
- 第五、六 演習用彈藥支給定數表(諸學校)
- 第五、七 演習用爆破火藥火具細目員數表
- 第六 年度演習用彈藥請求表
- 第七 現品交付兵器價額調查表

- 第八 演習用彈藥受納明細表
- 第九 兵器及馬具受納使用計畫表
- 第十 定例報告通報一覽表
- 第十一 兵器交付(返納)(拂出)票
- 第十二 兵器修理傳票
- 第十三 演習用彈藥授受簿
- 第十四 演習用彈藥完成材料授受簿
- 第十五 兵器(兵器材料)(返納)(送達)(支給)(修理)(新調)借用證
- 第十六 兵器業務ニ關スル備附書類一覽表
- 第十七 總豫備主要兵器員數表
- 第十八 本廠長管理特別準備兵器員數表
- 第十九 所要兵器過不足表
- 第二十 要塞備附兵器過不足表 甲

- 第十八 要塞備附兵器過不足表 乙其ノ一
 第十八 要塞備附兵器過不足表 乙其ノ二
 第十九 部隊所要兵器未補填數調查表
 第二十 第一類兵器亡失及毀損員數調查表
 第二十一 年度演習用彈藥消費殘數調查表
 第二十二 他部隊ニ携行スル下士兵卒携行兵器表
 第二十三 兵器受拂配當簿
 第二十四 戰用兵器受拂簿
 第二十五 供用兵器(演習用彈藥)演習用彈藥元材料受拂簿
 第二十六 兵器配當簿

兵器取扱規則改正案

改正要領

第一章 總則

第一條（現行第一條及第六十六條修）

本規則ハ平時各部隊ニ於ケル兵器業務

ヲ規定スルモノトス

現行第十章軍

本規則ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外

戰時留守部隊^{臺灣留守部隊ヲ含ム}ニ於ケル兵器

業務ヲ解キ

業務ニ適用スルモノトス

軍隊ニ於ケル兵器業務ハ軍隊内務書ニ

加ヘタリ

規定スルモノノ外規定ニ依ル

第二條（現行第二條修）

本規則ニ於テ兵器ト稱スルハ兵器細目

兵器中ニ器材

名稱表ニ掲クル武器、彈藥、器材、器具、材料

ヲ加ヘ且兵器

及之ニ準スヘキモノヲ謂ヒ兵器用物品ノ意義

ト稱スルハ兵器ノ修理、手入、検査、 格納、運搬、工卒教育等ニ使用スル物 品ヲ謂フ	第三條（現行第三條修） 兵器ノ制式ハ通常兵器圖及兵器細目名 稱表ヲ以テ之ヲ定ム但シ必要ニ應シ 構造要領ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得	第四條（現行第四條） 本規則ニ於テ兵器ハ附表第一ノ如ク三 類ニ盛分ス	第五條（現行第五條） 本規則ニ於テ新調ト稱スルハ兵器及兵 器用物品ノ製造又ハ購買ヲ謂ヒ修理ト 稱スルハ兵器及兵器用物品ノ加工又ハ 部品ノ交換ヲ謂フ	第六條（現行第六條）
ヲ明瞭ナラシ メタリ	要圖ヲ以テ制 式ヲ定ムル場 合ナキヲ以テ 之ヲ削除セリ			

兵器採用検査規則、廢兵器檢定ニ關スル規則、兵器保存要領、各種重要兵器ノ取扱法、同履歷規則、演習場備附兵器ニ關スル規定、彈藥取扱細則及軍隊學校ニ於ケル兵器修理區分表等別ニ之ヲ定ム

第七條（現行第七條修）

生徒隊、學生隊、教導隊又ハ練習隊ヲ陸軍教導學校有セサル學校及通信學校、所屬飛行學校ヲ除ク軍隊中ノ創設ニ依ル司令部及陸軍教化隊ハ本規則ニ於テ該衙ニ包含ス

第八條（現行第八條修）

本規則ニ於テ本廠、支廠、本廠長、支現行第八條第一項ハ第一項ト稱スルハ陸軍兵器本廠、同兵器一項ト類似事支廠（兵器本廠出張所ヲ含ム）陸軍兵器本三項ト類似事廠長、同兵器支廠長（兵器本廠出張所長項ニアラサル

第九條（現行第八條修）
ヲ含ム、略稱トス

本規則ニ於テ兵器廠、支廠、本廠長、航空本部補給
支廠長ニ關シテ定ムル事項ハ航空本部ヲ支廠ト同
管掌器材ニ在リテハ之ヲ陸軍航空本部様ニ取扱ヘリ
同補給部、航空本部長、同補給部長ニ
適用ス
支廠
支廠

第十條（現行第十條）

本廠長ハ本規則ニ定ムルモノノ外兵器
廠業務實行ノ手續ヲ規定シ陸軍大臣ノ
認可ヲ受ケ之ヲ關係部隊ニ通牒スヘシ

第二章 管理、保管及主管

第十一條（現行第十一條修）
各部隊ニハ通常兵器表所定ノ兵器ヲ備
第二類定數外

主管ハ管理保管ト同一
性質ノモノナル故ニ本章
ニ加ヘタリ

ヲ以テ別條トセリ

附 各部隊ハ前項定數ノ外第一類兵器ニ限
 リ平時用官衛員數ノ半數以内ヲ保管ス
 ルコトヲ得
 第三類兵器ニ在リテモ管理者ニ於テ必
 要ト認ムルモノハ前項ニ準シ定數外ヲ
 保管セシムルコトヲ得
 第十一條（現行第十一條第十一條及第
 七十一條修）
 兵器ノ管理及保管區分ハ附表第二ニ依
 リ兵器ノ主管理者ハ保管者ニ定ム但シ
 兵器ノ主管理者ハ保管者ニ定ム但シ
 兵器ノ主管理者ハ保管者ニ定ム但シ
 官衛ハ長之ヲ定メ保管者ニ通牒スルモ
 ハトス
 管理者ハ其ノ管理スル兵器ノ保存及整
 理ヲ圖リ保管者ハ兵器業務ヲ規定シ其
 及主管理者ノ責
 分ヲ明確ニシ
 管理者保管者
 兵器ノ管理、保
 管者ノ責
 分ヲ明確ニシ
 管理者保管者

第三章 検査

ハ實施ヲ監督ス
 保管者ハ其ノ保管スル兵器ノ保存及整
 理ノ責ニ任ス
 主管者ハ其ノ主管スル兵器ハ保存及整
 理ニ關シ保管者ニ對シ其ハ責ニ任シ其
 ノ出納^{供用兵器ノ}掌ル
 第十三條へ現行第十七條修^{（主）}
 兵器ノ出納ヲ掌ル主管者交替ノ際ハ帳
 簿ノ末尾ニ引繼了^{（主）}ノ旨及其ノ年月日
 ヲ記入シ連署捺印スルモノトス
 第十四條へ現行第十四條へ
 本廠長ハ必要ニ應シ他部隊ニ其ノ管理
 兵器一部ノ保管ヲ~~修~~託スルコトヲ得

其ノ方法ヲ陸
 軍物品會計規
 程ト同一ニセリ

第十五條（現行第十五條修）

管理ノ者ハ適時其ノ管理スル兵器ノ保存憲兵司令官管
 整理ノ狀況兵器ニ關スル費用ノ使途等理兵器陸軍
 兵器業務全般ノ景況ヲ精細ニ檢査スル教導學校保管
 モノトス但シ憲兵司令官管理兵器及陸兵器、委託兵
 軍教導學校保管兵器ノ檢査ハ當該所管兵器及所屬長官
 師團長ニ委託兵器及所屬長官ト管理者ヲ異
 者ヲ異ニスル動員用兵器ノ檢査ハ其ノニスル動員用
 保管部隊ノ所屬長官ニ委託スルヲ例ト
 ス

分ヲ明
 示セリ

前項ノ檢査ハ部下ヲシテ之ヲ行ハシム
 ルコトヲ得

第十六條（現行第十六條修）

前條檢査ノ際當該檢査官ハ檢査終了後其ノ方法ヲ陸軍物品
 主要帳簿ノ末尾ニ檢査済及其ノ年月日會計規程ト同一
 ヲ記入シ署名捺印スルモノトス
 樣式トセリ

第十七條（現行第十八條）

陸軍大臣ハ必要ニ應シ臨時兵器検査官ヲ命シ兵器ノ検査ヲ行ハシム

第四章 支給、交換及返納

第十八條（現行第八條修）

本章ニ於テ兵器部、同部長ニ關シ定ムル事項ハ附表第三ノ兵器部兵器廠管掌部隊ニ付テハ之ヲ支廠、支廠長ニ適用ス

第十九條（現行第九條修）

兵器廠ニ於テ行フ各部隊保管兵器ノ支給、交換及返納ハ附表第四ノ區分ニ依リ之ヲ取扱フモノトス
官衙用兵器携帶兵器ヲ除クハ所管兵器部

類似事項タル返納ヲ本章ニ追加セリ

現行規則總則ニ在リシ事項ヲ本章ニ移シ管掌ノ意義ヲ明瞭ニセリ

滿洲駐劄部隊用彈藥支給及交換返納ハ總テ關東軍兵器部ニ於テ實施シ又要塞司令部所在地諸部隊兵器表所定以外ノ彈藥支給ヲモ前同様要基司令

第二十條（現行第十九條修）

左ニ掲クル兵器ノ支給ハ本廠長之ヲ行

部ニ於テ實施スルニトセリ

兵器表ニ規定スル保管兵器

除ス又演習用彈藥中特種ノモノ

陸軍動員計畫令細則ニ基キ特ニ要

以外ハ兵器部ニ

スル兵器

移シ且要塞司令

亡失又ハ廢品ト決定シタル第一類

部取扱彈藥中兵

兵器第三條第二ノ代品

器廠ニ於テ支給

野戰重砲兵隊及重砲兵

スルヲ可ト認ル

學校ハ演習用彈藥中當該部隊ノ所

モノヲ本條ニ移シ事

在地外ニ於テ交付スルモノ及投下

務ノ簡捷ヲ圖レリ

爆彈

第二十一條（現行第二十條修）

本廠長ハ左ニ掲クル兵器ヲ適宜兵器部演習用彈藥中
又ハ要塞司令部ニ委託シ衛戍服務用彈特種ノモノ以

藥ハ衛戌司令官其ノ他ノモノハ當該隊外ノモノ及第 長ノ請求ニ依リ之ヲ交付セシム ニ類兵器交換	一、演習用彈藥前條第四号 品、第三類現 品交付兵器ハ	二、平時用及演習用彈藥ノ不良品ノ交 品交付兵器ハ	三、不發彈爆破ニ要スル火藥火具 兵器部ニ於テ	四、禁闕守備隊衛戌服務用彈藥 直ニ交付シ得	五、禮砲弔發用彈藥 ル如クシ事務	六、衛戌服務、憲兵勤務及警備ノ為射耗 簡捷ヲ圖レ	七、シタル少數ノ補填彈藥 リ	八、戰用火藥火具ハ不良品ハ交換品 ノ簡捷ヲ圖レ	九、第三類現品交付兵器航空本部管掌 器材ヲ除ク 品、第三類現	第十、第二十條一現行第三十三條 品、第三類現	第十一、每教育年度ニ要スル演習用彈藥ハ附表 品、第三類現	第十二、第五ニ掲クル定數ニ依リ之ヲ支給ス 品、第三類現
--	--	-------------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	-----------------------------	-------------------------------------	---------------------------	------------------------------------	--	-----------------------------------	---	--

重砲兵隊及重砲兵學校ノ火砲演習用彈藥並戰時留守部隊ニ要スル演習用彈藥ノ支給員數ハ別ニ之ヲ定ム

第二十三條（現行第二十四條修）

前條ニ依ル支給彈藥中附表第五ノ主及交換支給及増

備考欄ニ示セル火砲演習用彈藥ノ交換支給ノ場合

換支給及附表第五ノ主備考欄ニ示セル火砲演習用彈藥ノ交換支給ノ場合

鐵道聯隊爆藥ノ増加支給ヲ要スル場合ハ明セリ

ハ附表第六ニ依リ各部隊ヨリ兵器部又ハ要塞

ハ要塞司令部ニ請求スル兵器部又ハ要塞司令部ニ請求スル兵器部又ハ要塞

司令部ハ所要數ヲ取纏メ二月盡日以前ニ

給ヲ希望スルモノハ迄ニ本廠ニ請求スルモノトス

第二十四條（現行第二十五條修）

野戰重砲兵隊、重砲兵隊及諸學校ノ火便宜ノ場所ニ

砲演習用彈藥並投下爆彈ハ便宜ノ場所ニ於テ交付ヲ受

ニ於テ交付ヲ受クルコトヲ得

ケテ得ル部隊ヲ

此ノ場合ニ在リテハ當該部隊ヨリ兵器増加セリ
部又ハ要塞司令部ヲ經テ之ヲ本廠ニ請
求スルモノトス

第二十五條（現行第二十七條修）

軍隊學校ニ支給スル演習用彈藥中左ニ野戰砲兵學校
掲クルモノハ材料第三條ヲ支給シ之ニ於テモ一部
ヲ完成セシメ其ノ他、總テ完成品ヲ支
給ス

一

野山騎砲兵隊滿州駐劄野戰砲兵

施スルコトト

學校ニ支給スル野山騎砲兵用彈藥

シ且從來實施

彈藥約三分一

習用手榴彈ニ

二

重砲兵隊及重砲兵學校ニ支給スル

關スル事項ヲ

火砲用彈藥

明不セリ

三

爆發罐及十年式手投演習用手榴彈

四

爆發包及擬砲（銃）火航空隊ニ支給

前項完成品中火砲用彈藥ハ所管兵器部

滿州駐劄部隊ニ支給スル
 モノハ關東軍兵器部
 ス但シ野戰砲兵學校及野戰重砲兵隊ニ
 支給スル彈藥ノ完成ニ要スル指導監督
 ハ當該部隊ニ委託スルコトヲ得
 第二十六條（現行第二十八條修）
 演習用彈藥完、成ニ要スル材料及屬品中
 左ニ掲クルモノハ各部隊兵器ニ關スル
 今達豫算内ニ於テ之ヲ新調スヘシ
 一、重砲用紙筒、紙製藥囊、彈底、支桿
 二、爆包及擬砲（銃）用藥囊
 三、藥筒用三角紙、同十字紙、同支板、空包
 用支板、同三角紙、同藥莢蓋ノ類
 第二十七條（現行第二十一條修）
 平時使用スル第二類兵器ハ別ニ定ムル
 第二類兵器交換、定額表ニ依リ、通常毎年
 三月、現品ヲ支給ス之カ爲、各部隊ハ本廠
 ヲ廢シ第二類
 繁雜ナル第二
 類分數交換制
 重砲用空包藥
 囊ハ之ヲ支給
 スルコトトセリ

長ハ、定ムル兵器定價表ニ依リ、現定額ヲ定額ニ依リ、現
 超過セサル範圍内ニ於テ適宜兵器ノ種品ヲ請求セシ
 類員數ヲ選定シ、兵器部ニ於テ第ニ類ノハルト共ニ要
 トス但、必要ハ本範圍ニ於テ第ニ類ノハルト共ニ要
 現品交付兵器ヲ請求スルコトヲ得、範圍ニ於テ第
 兵器部ハ前項ニ依ル各部隊要需品ハ所ニ類現品交付
 要數ヲ取纏メ、一月盡日迄ニ本廠ニ送付、兵器モ請求シ
 スルモノトス
 得ルコトトセリ

第二十八條（現行第四十三條ノニ修）
 兵器本廠長ハ第三類兵器中現品交付ヲ現品交付ヲナスヘキ品
 爲スヘキ品目及其ノ價格ヲ規定シ、陸軍目ノミナラス價格モ
 大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ關係部隊ニ通牒規定スルコトトセリ
 スヘシ

第二十九條（新）
 前條ニ基キ兵器部ハ各部隊ノ翌年度所現品交付ニ關
 要豫定數ヲ調査シ、毎年二月盡日迄ニ本廠ニ送付、兵器モ請求シ

類似事項ヲ合
シ一條トセリ

第三十條（現行第二十六條修、現行第

七十四條修

新陳交換ヲ要スル兵器ハ其ノ保存程度
彈藥ニ在リテハ品ニ依リ概ネ左ノ順序ニ繰下
黄及製作年次モハトス但シ平時用者ハ演
習用トシテ速ニ支給スル要スル
器ハ此ノ限外ニ在ラズ要スル

總豫備兵器

支廠、兵器部及要塞司令部保管戰

用兵器 平戰兩用ヲ含
マズ以下同シ

三、軍隊保管ノ戰用兵器 第四号ノモ

、兵器、衛戍服務及警備用彈藥

三十一條（現行第十三條修）

三十一條（現行第十三條修）

必要ヲ認メタル場合ニ於テハ各部隊保

必要ヲ認メタル場合ニ於テハ各部隊保

理者二於下新

管理者ニ於テ更新シ得サルモノハ本廠

管理者ニ於テ更新シ得サルモノハ本廠

ル
兵器
ハ
其
ノ

本廠長、前頃、通牒、受ケ、之、力、更、新、

本廠長、前頃、通牒、受ケ、之、力、更、新、

ニ
通牒
ス
ル
コ

用又ハ演習用ニ充當スルコトヲ得

用又ハ演習用ニ充當スルコトヲ得

1

軍隊學校に於ける保管兵器の過數、毎

軍隊學校に於ける保管兵器の過數、毎

器等ハ特ニ定ムルモノヲ除ク外之ヲ

器等ハ特ニ定ムルモノヲ除ク外之ヲ

10

兵器廠ニ返納スヘシ但シ演習用彈藥ノ消費殘數ニシテ翌年度(天口径砲彈ニ在リテハ翌年度及翌々年度)ニ於テ其ノ使用計畫ノ確定シタルモノニ限リ所管長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ繰越使用スルコトヲ得

前項演習用彈藥ノ消費數、返納數並繰越數ハ附表第八ニ依リ兵器部又ハ要塞司令部ニ通牒シ兵器部又ハ要塞司令部ハ之ヲ取纏メ本廠ニ通牒スヘシ

第三十三條(現行第三十條修)

戦用兵器ヲ返納スル場合ニ於テハ保管字句ヲ修正セ兵器中良品ヲ返納スヘシ但シ平時用ノモノニ在リテハ損品ト雖モ其ノ儘之ヲ返納スルモノトス

第三十四條(現行第三十一條)

毎年度演習用彈藥中左ニ掲クルモノハ
之ヲ收集シ適宜ノ時ニ於テ悉皆返納ス
ヘシ

一、火砲打殼藥莢、小銃、機關銃、拳

銃及演習用子榴彈、打殼藥莢並挿

彈子、保彈板以上保管數ヲ定メアルモノヲ除ク

砲彈用螺塞（彈口栓）同信管錫帽

空爆管

打殼螺門管

點火管管體

空虛ト爲リタル彈藥箱（附隨品共）、火藥箱

（罐）、火具箱類ハ前項兵器ト共ニ返納ス

ルモノトス

第三十五條（現行第三十二條）

軍隊、學校備附挿彈子、保彈板、火砲用

藥莢中ノ不良品ハ前項第三十四條ニ依リ返

第三十六條（現行第三十三條修）
 納スヘキ弾子、保彈板、火炮用藥莢
 中ノ良品ト交換返納スルコトヲ得

第三十四條（現行第三十三條修）
 ルニ方リ火炮打殼藥莢及保彈板ニ不足
 アルトキ又ハ其ノ他信管錫ノ減耗ニシ
 テ百分ノ五ヲ超過シタルトキハ理由ヲ
 附シ兵器部又ハ要塞司令部ヨリ本廠ニ
 通牒スルモノトス

第五章 使用

第三十七條（現行第三十四條修）

軍隊ニ於テ平時用兵器ヲ使用シ不足ヲ
 告クルトキハ保管者ニ於テ平時使用セ
 サル當該隊保管兵器ヲ一時左ノ順序
 除シ且定員外
 エ兵器材ニ對
 但書ヲ削

使用

一、留守部隊及要塞砲兵隊定員外者用者用兵器ノ使用ヲ明ニセリ

二、當該隊戰時用兵器

前項ノ場合一於テ平時用以外ニ携帶兵

器ノ保管ナキ部隊及滿州駐劄部隊ニ在

リテハ總豫備兵器ヲ借用スヘシ

第三十八條（現行第三十五條修）

所屬長官（航空本部警備部長、海軍本部警備部長、陸軍本部警備部長、各軍本部警備部長）ノ管理ニ屬スル地請求者ヲ不セ

部隊保管兵器ヲ借用セントスルトキハリ

各部隊長ヨリ保管者ノ承認ヲ受ケ借用シ

管理者ニ報告スヘシ但シ當該隊ノ戰用

兵器ニ在リテハ管理者ノ認可ヲ受クヘ

シ

第三十九條（現行第三十六條修）

軍隊ニ於テ動員計畫令ニ規定スル特設携帶兵器以外ニ

部隊ヲ補充隊充當ノ兵器ヲ使用セハトス、
 ルトキハ管理者ノ認可ヲ受クヘシ、
 前項ハ場合ニ於テハ使用後其ノ狀況ヲ
 管理者ヨリ陸軍大臣ニ報告スヘシ
 テモ特設部隊用
 兵器ノ使用權ヲ
 管理者ニ委ネ事
 務簡捷ヲ圖レリ

第四十條（現行第三十七條）

管理者ハ各部隊第二類兵器交換下品中
 尚一時ノ使用ニ堪ユルモノハ適宜兵器
 部ニ保管セシメ必要ニ應ジ各部隊ノ使
 用ニ供セシムルコトヲ得

第四十一條（現行第三十八條）

各部隊ニ於テ其ノ所屬長官ノ管理ニ屬
 セサル他部隊保管ノ兵器ヲ借用セント
 スルトキハ特ニ指示セラレタル場合ヲ
 除クノ外左ノ各號ニ依ル

一 重砲兵隊、重砲兵學校ニ於テ要塞
 備附兵器ヲ彈藥ヲ使用セハトスル

字句ヲ修正セリ

ニ

トキハ隊長又ハ校長ヨリ管理者ノ承認ヲ受クヘシ

前號以外ノ戦用兵器及戦用ニ充當

スヘキ總豫備兵器審査、研究等ノ爲ニ時

モ、度々キニ在リテハ管理者ノ承認ヲ

經テ所屬長官ヨリ陸軍大臣ニ申請

又ハ協議スルモノトス

三

前二號以外ノモノニ在リテハ所屬

長官ヨリ當該管理者ノ承認ヲ受ク

第四十二條（現行第三十九條）

他部隊保管兵器ヲ借用シタルトキハ其

ノ修理、手入、運搬ハ借用部隊ニ於テ

之ヲ行フヘシ但シ第三十七條第二項及

前條第一號ノ場合ニハ永久保存用脂油

塗料ノ塗施ハ保管部隊ニ於テ之ヲ實施

第六章 新調修理、貯藏及手入

第四十四條（現行第四十一條修

左ニ掲クルモノハ別ニ定ムル處ニ依リ

各保管部隊ニ於テ新調スルモノハトス

一、兵器修理用品

二、第三類兵器 初年度支給ノモノ及現品
交付兵器除ク

三、第二十六條ニ掲クル兵器

四、兵器用品

第四十五條（現行第四十二條）

前條以外ノ兵器ハ陸軍大臣本廠長ヲシ

テ新調辨セシム

第四十六條（現行第四十二條ノニ修）

各部隊ニ於テ演習費ヲ以テ彈藥ヲ調辨

セトスル場合ニ於テハ毎年三月 概テ四月

九月迄ニ 概テ八月以降 及十二月 概テ翌年

所要ノモノ 概テ三月以降

第二類兵器ノ

分數交換廢止

ノ結果現行規

則第四十一條第ニ

號ヲ削除シ且新調

ノ範圍ヲ明示セリ

秋季演習其ノ他部隊

ニ於テ演習費支辨

彈藥ノ請求ニ利便

三月迄ニ所屬長官ヨリ

本廠長ニ請求スル

ナル如ク其ノ時期ヲ変更セリ

第四十七條（現行第四十三條修）

各部隊ニ於テ兵器及兵器用物品ヲ新調

一 造兵廠ニ於テ製造スルモノハ特ニ本條ニ移セリ

指示スル場合ヲ除クノ外造兵廠ニ

注文ス但シ兵器修理區分表ニ掲ク

ル修理制限品以下單ニ修理以外ノモ

ノニシテ備附職工具演習用器材ヲ

以テ確實ニ製造シ得ルモノハ其ノ

工場ニ於テ製造シ兼兵器ノ制式ヲ

害セス新調シ得ルモノハ部外ヨリ

購買ス

修理制限品ニシテ造兵廠ニ於テ製

造セサルモノハ兵器廠ニ委託ス

第四十 各部 隊ニ於テ兵器及兵器用物品ヲ修理
 支廠ニ委託スルコトヲ得
 シ得サルモハ同部ニ於テ取纏メ
 ルモノトス若シ兵器部ニ於テ調辨
 之ヲ兵器部又ハ航空本部ニ委託ス
 其ノ地ニ於テ調辨シ得サルモハ
 前ニ製造シ又ハ部外ヨリ購買ス但シ
 前ニ製造シ又ハ部外ヨリ購買ス但シ
 文シテハ兵器廠ニ委託ス
 前號以外ノモノハ其ノ工場ニ於
 理シ又ハ部外ニ注文ス但シ工場
 有スルモ作業上已ムヲ得サルトキ

前ニ製造シ又ハ部外ヨリ購買ス但シ
 文シテハ兵器廠ニ委託ス
 前號以外ノモノハ其ノ工場ニ於
 理シ又ハ部外ニ注文ス但シ工場
 有スルモ作業上已ムヲ得サルトキ

載セリ
 用ノ場合ヲ
 民間工場ノ
 利

ハ兵器部若ハ他ノ部隊ニ委託シ又
ハ造兵廠ニ於テ製造スルモノハ造
兵廠ニ注文スルコトヲ得
第四十九條（現行第四十五條修）
材料廠ヲ有スル軍隊、學校ニ在リテハ修
理制限品ト雖、其修理、工場器具ヲ以テ確
實ニ製造修理シ得ルモノニ限り其ノ工
場ニ於テ實施スルコトヲ得
第五十條（現行第四十七條修）
軍隊、學校ニ於ケル兵器及兵器用物品ノ
新調修理ハ工長及工卒（工手）ヲシテ
之ヲ實施セシムルヲ本旨トス
第五十一條（現行第四十一條修）
本廠以外ノ部隊ニ於テ造兵廠ニ注文ス
ヘキ兵器ノ新調修理ハ其ノ品目ニ應シ
製造、修理ヲ行フ最近ノ工廠又ハ直轄
寄

飛行機機体及發
動機製造ノ制限ハ
特ニ記載スルヲ要
セサルニ依ル
兵器用物品ニ
關スル事項ヲ
明不セリ

ノ製造所ニ注文スルヲ例トス

第五十二條（現行第七十九條修）

兵器廠以外ノ部隊ニ於テ兵器ニ關スル現行第十章軍隊ニ於ケル兵器業務ノ章ヲ分費用ヲ以テ購買シタル現品及交付ヲ受ケタル兵器用物品ハ總テ物品會計官吏解セル結果軍隊ノミナノ保管トシ特ニ規定スルモノヲ除クノ外ハ之ヲ物品出納簿ニ登記スヘシ

第五十三條（現行第八十條）

工卒（工手）修業者教育ノ爲メシタル成品ニシテ兵器又ハ兵器用物品トシテ使用シ得ルモノハ前條ニ準テ取扱フモノトス

第五十四條（現行第七十三條修）

貯藏兵器ハ保存整理ニ便ナル如ク品種記載順序ヲ變毎ニ程度要ニシテ製造年次ニ從ヒ順序更シ意義ヲ明ヲ定メ格納シ且軍隊ニ在リテハ戰時用瞭ナラシメ兵

如ク字句ヲ修正セリ

ト否ラサルモノトニ、兵器部ニ在リテ器ノ新陳交換
ハ兵器ノ管理区分毎ニ戦時用ト否ラサニ當リ其ノ移
ルモノトラ盛分スヘシ但シ小部品ノ組動ヲ減少セシ
合セヨリ成ル兵器ニ在リテハ適宜取纏ムル如クセリ
格納スルコトヲ得

前項格納品ノ各集團ニハ品種、數量、程度
必要ナルハ製作年次ニ新陳交換限ヲ要手入
年月^{テハ其ノ年月共}ヲ標示スヘシ

第五十五條（現行第四十八條）

各自ニ供用スル兵器ノ手入ハ使用者ヲ
シテ實施セシメ其ノ他ノ保管兵器ノ手
入ハ軍隊、學校ニ在リテハ兵卒又ハ生
徒、兵器廠、兵器部及要塞司令部ニ在
リテハ職工ヲシテ實施セシムルヲ例ト
ス

第五十六條（現行第四十九條）

軍隊、學校ニ於ケル兵器ノ新調、修理
及手入ニハ必要ニ應ジ當該部隊兵器ニ
關スル令達豫算内ニテ職エヲ傭役スル
コトヲ得

第七章 七失、毀損、檢定及處分

第五十七條（現行第五十六條修）

保管兵器ヲ七失シ又ハ特異ノ原因、
毀損シタルトキハ其ノ主管者原因ヲ
調査シ順序ヲ經テ保管者ニ報告スヘシ
得ル如ク改
逃亡者ノ携行シタル兵器ニシテ一月以
上所在不明ノモノハ七失ノ手續ヲ爲ス
ヘシ

第五十八條（現行第五十七條、第五十九條修）

本廠長管理以外ノ兵器ニシテ七失又ハ
類似事項ヲ取

毀損 変質及衰損ノ為其ノ用ニ堪ヘスト決
定シタルモノニ係ルモノハ左ノ各號
ニ依リ處理スルモノトス

第一類兵器ニ在リテハ檢定書及保
管者ノ調製シタル理由書ヲ添ヘテ
書場合ハ檢定管理若ヨリ本廠長ニ代品
ノ支給ヲ請求ス但シ米器部長ニ於

直ニ部分毎ニ區分シテ廢品檢定ヲ
行ヒ其ノ取附ヲ造兵廠ニ於テ實施
スルヲ要スルモノニ在リテハ保管
部隊ヨリ現品檢定ノ部分ヲ檢定書
寫シ込ヘ造兵廠ニ修理注文ヲ造兵
廠ニ送リシテ檢定書ヲ依リ修理
直ニ廢品ノ代品ヲ兵器廠ヨリ受領
シ其ノ取附ヲ實施スルモノトス

部分毎ニ區分
シテ廢品檢定
ヲ行フ場合ニ
於ケル交換修
理ノ手續ヲ簡
易ニセリ

文部隊ニ送付スルモノトス但シ部
 分毎ニ區分シテ廢品檢定ヲ行ヒ其
 ノ取付ヲ造兵廠ニ於テ實施スルヲ
 要スルモノハ直ニ檢定書
 寫ニ依リ廢品ノ代品ヲ本廠ヨリ受
 領シ交換修理ヲ實施スルモノトス
 第三類兵器ハ定數外ニテ補填ス
 隊ノ兵器ニ關スル令達豫算内ニテ
 新調補填シ又ハ定數外ノモノヲ以
 テ補填ス
 災害等ノ為兵器ヲ滅失、毀損シ前項ニ
 依リ整備シ難キトキハ管理者ヨリ陸軍
 大臣ニ具申スヘシ
 第五十九條（現行第五十一條）
 本廠長管理兵器ノ七失、毀損ニ對スル

取扱ハ前條ニ準シ本廠長別ニ之ヲ定ム
第六十條（現行第五十二條修）

發兵器ノ檢定ハ特ニ定ムルモノヲ除ク
ノ外兵器部長、支廠長航空本部管掌器材ニ在リテハ航空本部補給部長
之ヲ行フ但シ主要ナラサル發兵器ノ檢
定ハ各部隊長支廠長ニ委任スルコトヲ得
前項ノ外必要ニ際シテハ要塞司令部砲
兵科高級部員及兵器採用検査ニ任スル
將校ニ於テ檢定ヲ行フコトヲ得

第六十一條（現行第五十三條）
發兵器ノ處分ニ關スル事項ハ特ニ規定
スルモノノ外本廠長之ヲ定ム

第六十二條（現行第五十四條）
本廠長ハ發兵器ノ處分ヲ兵器部長兵器部所在地
外支廠長及要塞司令部砲兵科高級部員ニ
委任スルコトヲ得

第六十三條（現行第五十五條）
發兵器ノ檢定ハ特ニ定ムルモノヲ除ク
ノ外兵器部長、支廠長航空本部管掌器材ニ在リテハ航空本部補給部長
之ヲ行フ但シ主要ナラサル發兵器ノ檢
定ハ各部隊長支廠長ニ委任スルコトヲ得
前項ノ外必要ニ際シテハ要塞司令部砲
兵科高級部員及兵器採用検査ニ任スル
將校ニ於テ檢定ヲ行フコトヲ得

第六十二條（現行第五十五條修）

兵器部長（航空本部管掌材料ニ在リ）ハ各部隊ノ教育上第一類
 廢兵器（第一類ハ航空本部管掌材料ニ在リ）ヲ除ク中兵器用物品ニ應用シ得
 ハキモノニ限リ之ヲ使用セシムルストモ廢品使用ヲ
 得

第八章 運搬

第六十四條（現行第五十六條修）

兵器部長（航空本部管掌材料ニ在リ）ハ各部隊ノ教育上第一類
 廢兵器（第一類ハ航空本部管掌材料ニ在リ）ヲ除ク中兵器用物品ニ應用シ得
 ハキモノニ限リ之ヲ使用セシムルストモ廢品使用ヲ
 得

一、兵器部、支廠、要塞司令部又ハ港ヲ加ヘ且字句
 訂正セリ

兵器部、支廠、要塞司令部又ハ港ヲ加ヘ且字句
 訂正セリ

在リテハ當該隊

二、航空本部補給部支部ト其ノ地所在
 軍隊トノ間ニ在リテハ航空本部

- 補給部支部
 二、造兵廠所在地ニ在ル兵器部ト造兵
 廠トノ間ニ在リテハ兵器部
 四、兵器部所在地ニ在ル兵器部所管部
 隊ヨリ其ノ所在地外ヘノ發送ハ兵
 器部
 五、航空本部補給部支部所在地ニ在ル
 部隊ヨリ其ノ所在地外ヘ航空本部
 管掌器材ノ發送ハ航空本部補給部
 支部
 六、兵器部、航空本部補給部支部、要
 塞司令部又ハ兵器部所在地外ニ在
 ル部隊ヨリ其ノ所在地外ヘノ發送
 ハ當該部隊
 七、造兵廠修理、新調品竣功後ニ於ケ
 ル造兵廠所在地外ヘノ發送ハ造兵

八、廠（支廠）＝發送ノモノヲ除ク）

同一地ニ在ル兵器部要塞司令部又

ハ支廠相互間ニ在リテハ發送部隊

九、

前各廠以外ノ場合ニ在リテハ支廠
陸軍教導學校ニ在リテハ兵器部

第六十五條（現行第五十七條）

前條第一號ノ軍隊中兵器部倉庫ヨリ若

シク遠隔スルモノ及憲兵隊ニ在リテハ

兵器部ニ於テ運搬ヲ取扱フコトヲ得

第六十六條（現行第五十八條）

兵器ノ運搬ニ關スル事項ハ陸軍大臣ハ

認可ヲ受ケ本廠長ニ於テ規定スヘシ

第六十七條（新）

兵器ノ運搬契約ハ近地運搬及臺灣滿州

ニ在リテハ當該師團（軍）其他ニ在リ

テハ兵器廠ニ於テ之ヲ擔任ス

兵器廠航空本部、造兵廠
等ヲ統一スル為陸軍大臣
ノ認可ヲ受クルモノトシ且造
兵廠除外例ヲ削除セリ

運搬費契約ノ
區分ヲ明示セ

第九章 費用

第六十八條（現行第五十九條修）

第二十條第九號ニ依ル現品交付ヲ受
ケタ^{（現品）}價格ハ引當豫算ヨ^{（現品）}控除スルモ
ノトス

軍隊ノ兵器事務ヲ容易
ニシ且兵器費ノ節用ヲ監
督スル爲引當豫算ヨリ
控除スルコトセリ

第六十九條（現行第六十一條修）

兵器及米器用物品ノ運搬費ハ第六十四
條^{（第一號）}及第六十五條取扱部隊ニ於テ
負擔スルモノトス但シ臺灣滿州ニ在リ

運搬費ノ支拂
ヲ取扱部隊支
拂ノ主義ニ変

テハ當該軍兵器部又ハ要塞司令部トシ

更シ事務簡捷

第六十四條第六號中軍隊ニ於テ取扱フ

ヲ圖レリ

モノハ兵器部^{（航空本部管掌器材ニトス）}

第七十條（現行第六十二條修）

官衙ニ供用シタル兵器又ハ官衙分遣下
學校ニ分遣中

士卒ノ携帶兵器ノ修理、手入ニ要スルノモノノミナ
費用ハ當該官衙供用兵器ノ保管部隊ノラズ軍隊ニ分
支辨トシ軍隊學校ニ分遣中ノ下士卒携遣中ノモノモ
帶兵器ハ修理手入ニ要スル費用ハ當該適用シ得ル如
軍隊學校ノ支辨トス

第七十一條（現行第六十三條）

本廠長管理ニ属スル校託兵器ノ保存ニ
要スル費用ハ保管部隊ノ支辨トス

第七十二條（現行第六十四條）

各部隊ニ於テ平時用以外ノ兵器演習召集
召集、下士以下供用ヲ特ニ演習ノ為使用スル場合ニ於ケル費
合ニ要スル費用復旧及手入ニ要スル並自動車及用ヲ明瞭ニセ
演習用器材ヲ教育演習ノ為使用スル場
合ニ要スル燃料、消耗材料修理及手入ニ要ス
ノ購買ニ要スル費用ハ使用部隊ノ演習
費支辨トス

第七十三條（現行第六十五條修）

工卒ヲ修業者及職工ノ教育ニ要スル費用並火工作業等職
 工手ヲ修業者ノ教育ノ爲兵器及兵器用物品エノ教育ヲ要
 ノ製造又ハ修理ニ要スル費用ハ當該部スルモノアル
 隊ノ兵器ニ關スル令達豫算内ニ於テ之ヲ明
 スルモノトス

第十章 諸計畫及書類

第七十四條（現行第六十七條修）得官部隊

兵器委員及兵器官ハ出納ヲ掌ル主管者ハ
 所要ニ應シ費用ハ使用兵器ハ千ハ更新
 修理機材及演習用彈藥完成等ニ關スル
 計畫ヲ立案シ部隊長ノ承認ヲ受ケ之ヲ
 實施スヘシ

第七十五條（現行第六十八條）

軍隊ノミナラス一
 般ニ適用シ得
 ル如クシ且主
 要ナル計畫事
 項ヲ掲ケタリ

前條諸計畫ニハ計畫ノ要旨、計畫上特
ニ留意シタル事項及實施並必要ナル意
見ヲ記入スヘシ

第七十六條（現行第六十九條修）

費用ノ使用ニ關スル計畫ハ兵器ノ現況諸計畫ノ連繫

並第七十四條ハ諸計畫ニ基キ且前數年ヲ容易ナラシ

ノ統計及繰越材料ノ數量等ヲ顧慮シ附ハル如ク之ヲ

表第九ノ様式ニ依リ製スルモノトス明示セリ

第七十七條（現行第七十條修）

永年ニ亘ル貯藏兵器ノ入ニ關スル計畫貯藏兵器ノ手

ハ品目ノ入ノ方法時期有効期限、基入計畫ヲ一層

數及基數ノ入ニ要スル人員材料ヲ掲ケ具體的ニ指不

年度ノ入計畫ノ基準ヲ定ムルモノトスシ適從スル所

年度貯藏兵器ノ入ニ關スル計畫ハ兵器アラシムルヲ

ノ現況ト前項ノ諸計畫及當該年度ニ於テ可トスルニ依

ケル一般行事ヲ顧慮シ年度内ニ於テテ可トスルニ依

第七十八條

入ヲ要スル兵器ノ品目、數量、手入ノ方法、時期、所要人員、材料ヲ掲クルモノトス

（新）

兵器更新修理ニ關スル計畫ハ、更新修理基準並既往實施ノ推移ヲ明ニシ、

兵器ハ整備ト新調修リ、要スル費用ハ使用ヲ適確ナラシムルモノトス

第七十九條（現行第八十三條）

兵器業務ニ關シ通常備附クヘキ書類ハ附表第十四ニ依ル

第十一章 雜則

第八十條

（現行第八十四條、第八十五條及第八十六條修）

具體的ニ指示シ、適從スル所アラシムルヲ可トスルニ依ル

兵器業務ニ關スル定例報告及通報ハ附一覽表トナスヲ
表第~~九~~十一條ニ依リ之ヲ行フモノトス
可トスルニ依ル

第八十一條（現行第七十五條修）

兵器ノ授受ハ部隊内ニ在リテハ附表第

十~~一~~二~~三~~條（第十~~一~~二~~三~~條修）

第十~~二~~三~~四~~條（授受簿、他部隊トノ間ニ在リ

テハ附表第十~~三~~四~~五~~條ノ證票ヲ用ヰルモト

ス但シ其ノ地所在ノ軍隊ニ修理ヲ~~依~~託

セ~~ル~~ハトスルトキハ附表第十~~一~~二~~三~~條ノ傳票

ヲ用ヰルヲ例トス

第八十二條（新）

火砲ノ腔發又ハ多數ハ不規彈藥等アル

之ヲ~~ハ~~トキハ管理者ヨリ直ニ陸軍大臣ニ査探究スルノ

本廠長ニ通牒スルモハトス技術本部長及要アルニ依ル

第八十三條（現行第八十七條）

第八十三條（現行第八十七條）

第

各部隊ニ分遣スル下士、兵卒第八中隊、
 二携帶セシムヘキ兵器ハ附表第二十三
 二依ル
 八十四條一現行第八十八條修
 下士以下赴任ハトキハ赴任用刀劍ヲ
 佩用セシムルモハトス其ノ所要概數ハ
 本廠長之ヲ定メ兵器部及兵器部所在地
 以外ノ部隊ニ轉託保管セシムルモノト
 ス
 前項ノ刀劍ハ出發地ノ保管部隊ヨリ受
 領シテ之ヲ佩用シ到着地ノ保管部隊ニ
 返納スヘシ士官候補生ノ分遣歸隊並陸
 軍士官學校豫科卒業生ノ入隊陸軍幼年
 學校卒業生及下士ノ陸軍士官學校豫科
 入校兵卒ハ陸軍工科學校入校同一衛戍
 地以外ノ入獄者入院者ノ原隊復歸者ノ
 下士ノ士官學
 校豫科入校及
 兵卒ノ工科學
 校入校ノ場合
 ヲ追加セリ

場合亦同シ

第八十五條（現行第八十九條）

他部隊ニ分遣中ノ者ノ携帶スル兵器ノ
新調、修理、手入並第一類兵器ノ交換
及亡失ニ對スル補填ノ取扱ハ分遣先ノ
部隊ニ於テ之ヲ行フ但シ第一類兵器ノ
交換及補填ハ原保管部隊ニ之ヲ通牒ス

第八十六條（現行第九十條）

造兵廠修理第一類兵器中廢品ト決定シ
タルモノハ現品ヲ最寄支廠ニ交付シ其
ノ受領證及檢定書ヲ注文部隊ニ送付ス
ルモノトス

ルカ又ハ危險ナキモノト爲シ完全ニ
形體ヲ存セサル如ク處置シタル後處分
スヘシ

第八十五條（現行第八十九條）

受命書及錄式書王文悟新刻

之小八財品之量寄支藏ニ交付之其

南人十六制一賦一策五十制

第八十七條（現行第九十二條）

發射シタル銃砲彈、彈體、破片、被筒

並信管類等ハ試験ノ爲特ニ必要ナルモ

ノヲ除クノ外之ヲ拾集セサルモノトス

但シ不發砲彈及火具ハ之ヲ爆發セシム

ルカ又ハ危險ナキモノト爲シ完全ナル

形體ヲ存セサル如ク處置シタル後處分

スヘシ

前項彈體、破片等ハ演習場規則ニ規定
スル演習場管轄師團ノ經理部長別ニ之
ヲ處置スルモノトス

附則

本連ハ昭和四年一月十日ヨリ之ヲ施
行ス但シ運搬ニ關スル事項ハ同年四月一日
ヨリ之ヲ施行ス

附表第二(現行附表第一修)

兵器類別表

各種砲				各種機關銃		各種銃	騎兵槍	各種刀(劍)(短刀)	見習士官(騎兵)	名稱類別
架	揺	被	砲	三	銃	銃	槍	刀	刀	第一類
匡	架	套		脚				(劍)		第二類
泥除雨覆止被水雷衣擔紐				入具囊(收入品ヲ除ク)		負革彈藥盒拳銃囊(附隨品)		刀帶(鍔金銀鼓鉤釣)		第三類
被金銀製品ヲ含ム				銃履耐熱銃身履負革履革縛革		昇降軸履裝填物衣囊彈藥盒		刀緒		
架砲身托架及提棍(面覆)				圓匙十字鉄鞍系馬杭繫馬索		鶴嘴提轆革縛革		前眞鼓鉤釣銀鉤鎖		
砲口砲尾砲身表尺照準具提				屬品(第二類除ク)		屬品(帶銀ヲ除ク)		帶		
屬品(第一第二類)				屬品(第二類除ク)		屬品(第二類除ク)		屬品(第二類除ク)		
泥除雨覆止被水雷衣擔紐				屬品(第一第二類)		屬品(第一第二類)		屬品(第一第二類)		

各
種
砲

電 壓 計	壓 力 計	觀 準 儀	弧 形 照 準 機	象 限 儀	表 尺	砲 床 (木製移動砲 床ヲ除ク)	前 車	砲 架	防 楯	基 塔	匡 床	塔 體
-------------	-------------	-------------	-----------------------	-------------	--------	---------------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

1221

各種豫備品車	各種觀測車	各種彈藥車	各種通信車	土工器具車	力作器具車	重砲運材車	四脚十起起重機車	各種重砲運搬車	各種射擊板
各種眼鏡				空氣唧筒		氣壓計		前車、後車	
脚柱車、機臺車		砲身車、推架車、砲架車、砲車、特種重砲運搬車		海岸射擊板(陸上)					

屬品及積載品第一
第三類ヲ除ク

運搬据付器具	力作器具	各種觀測及觀測車積載品	各種測遠機					各種輜重車	各種自動車	輜重推行器具	輜重繫馬具
十餘上起重機(屬品除)	各種扛起機	方向板各種鏡眼鏡測高機 針儀砲隊鏡測高機 航速測定機照像測定機	芭斯式 基盤鏡	野戰測遠機	應式觀準儀	應式半圓水平机	式(第類) 除	砲臺鏡ノ眼鏡	輜重車(前車後車)(屬品除)	悉皆(屬品除)	
大抗小抗									荷綱雨覆提轆革水震		圓匙、十字鋏
第、第類ノ外 悉皆		第、第類ノ外 悉皆					螺絲箱(収令器)縱速計算 尺被震夜間照明具	第、第類ノ外悉皆			

自轉車	喇叭	各種馬具	雜器材	銃擬製彈	頸彈藥帶	機關銃器具箱	軍樂器	輜重車附屬器具	輜重車豫備轆木	各種職工具	荷造器具	刀劍附及器
			空中聽音機									
		第三類ヲ除ク外悉皆			頸彈藥帶							
悉皆	握卷、飾紐	銜轡、鎖、銜、轡、架、匣、托、架、轡、部、品、轡、具、轡、木、金、衛、生、材、料、馬、具、大、衣、具	第三類ヲ除ク外悉皆	悉皆			悉皆(裝填品)			悉皆		

各種測腔機	各種彈藥箱	各種火藥箱(罐)	各種火工具	各種砲器具箱	塞底 塞鑲修理器具	方向觀測器	藥莢締直器	砲床檢查器	示數板及腕木	旗類	發光信號燈	ホーメー遊科

悉皆

測量器具		彈藥				洗淨唧筒	各種燈器	方向板	示差寒暖計
傾斜機	各種眼鏡水鏡機	各種測角器	藥匣(空砲藥匣)	保彈板	藥莢	火藥ヲ有スル火具	火藥	彈丸(各種彈丸用子榴彈)	方向板
打込器具									
第一類ヲ除ク外		第一類ヲ除ク外				悉皆		第一類ヲ除ク外	悉皆

土工器械						各種測量機	
各種掘鑿機	各種轉壓機	各種柄鑿機	各種穿孔機	各種鑽孔機	各種削成機	各種平削機	各種精削機
手動						動力	
依						力	
各種田畠(曲柄)						各種十子鉄	
各種鋤嘴						各種鋤嘴	
第一、第二類ヲ除ク						第一類ヲ除ク	

坑道器材

坑道用軌車	各種運土機	各種唧筒	各種排水機	各種通風機	各種溶解爐	各種溶接截斷機	各種氣力鉗	各種送風機	各種綴釘機	打貫剪斷機	各種壓搾機	各種螺子切盤
	機力 依ル	手動 除ク	機力 依ル	機力 依ル				手動 除ク	機力 依ル	ノ		除
右	合				右							
第一類ヲ除ク外 悉皆												

坑道器材				爆破器材			
坑道用支分部	全	轉車台	全	各種穿孔機	各種鑿岩機	各種掘進機	動力鑿整形機
				地中聽音機	各種電氣點火機	導通試驗器	各種防煙器
				各種救命器	酸素呼吸器		
全				全			
各種導電線				各種導電線			
第一類ヲ除ク外 悉皆				第一類ヲ除ク外 悉皆			

近接戰鬥器材		化學戰鬥器材		偽裝器材	
各種噴霧器	時限發火機	空氣液化機	携帶橋	鐵兜	防盾
各種突擊手用具	火焰發射器	各種防毒面	各種瓦斯放射器	各種瓦斯檢知機	防毒面試驗器
各種發煙器					
右	全	右	全	右	全
第一類ヲ除ク外 悉皆		第一類ヲ除ク外 悉皆		第一類ヲ除ク外 悉皆	

アジア歴史資料センター

通信器材

各種支分部	各種轉轍	各種轉車台	分解式 鐵道橋(橋脚3食)	壓力試驗用眼鏡	軌道敷設機	現子機	特種電信機	各種微電流通信機	各種暗號機	各種竊証機	各種難竊通信機	各種電信機	各種交換機	各種音響通信機
機力														
右							左							
各種枕木							十六番銅鋼線第一第二類ヲ除キ 各種被覆線外悉皆							
第一第二類ヲ除キ 悉皆														

通信器材		照明器材		機力器材				印刷器材		警備器材	
無線遠送機	方向探知機	迅速架設機	各種探照燈	各種汽罐	各種汽機	各種起重機	各種卷揚機	各種引上滑車	石版印刷機	各種制版機	各種速刷機
航空機位置測定機	情報報告傳達機	各種水中聽音機	各種水中聽音機	各種水中聽音機	各種水中聽音機	各種水中聽音機	各種水中聽音機	各種水中聽音機	各種水中聽音機	各種水中聽音機	各種水中聽音機
左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右
第一類ヲ除ク外 悉皆		第一類ヲ除ク外 悉皆		第一類ヲ除ク外 悉皆				第一類ヲ除ク外 悉皆		第一類ヲ除ク外 悉皆	

飛行器材									
各種飛行機々々	各種飛行機自來動機	各種飛行機用可計	各種高度計	各種速度計	各種回轉計	各種溫度計 (飛行機用計除く)	各種傾斜計	各種羅針盤	旋回指示器
偏流計	射撃動機								

属品豫品材料ヲ除ク

第一類ヲ除ク
本省

飛行器材		各種機関銃架 各種落傘 酸素吸入器 機上始動機 各種防火具 (手持消火器ヲ除ク) 機上用方向指導器 天測器具 機上用電機器具 各種氣球氣囊 瓦斯罐庫 繫留車	同是機関銃用照準具
同	右		
第一類ヲ除ク 悉皆	第一類ヲ除ク 悉皆		

飛行場器材			氣球器材										
(續)	標定羅錢	始動車	草刈機	瓦斯試驗器具	瓦斯浮力測定器	水素圧搾車	水素榮生車	氣球張力計	氣囊内壓計	一號水素罐	細具車	氣囊車	繫留索
右 同			右 同										
第一類ヲ除外 各皆			第一類ヲ除外 各皆										

飛行場器材		航空器材		航空器材	
飛行機	天幕	幅射計	通風乾燥計	空氣電計	密塞銀摺合機
著陸場照明機	野外作業燈	直線飛行監視鏡	著陸方向指示燈	水壓試驗器	緊急機平衡測定機
同		同		同	
第一類ヲ除外 悉皆		第一類ヲ除外 悉皆		第一類ヲ除外 悉皆	

(二)

航空修理器材		航空寫真器材							航空通信器材
各種計器試験器	各種計器検査器	各種カメラ盤	各種氣球用測定器	寫真自動車	各種寫真天幕	各種電氣焼付器	寫真 体 鏡	鏡式寫真体鏡	幻燈擴大鏡
同 柜		同 柜							地圖 引寫機
第一類ヲ除ク外 悉皆		第一類ヲ除ク外 悉皆							航空寫真懸吊器
第二類ヲ除ク外 悉皆		第二類ヲ除ク外 悉皆							標準蓄電池器
									航空通信器材
									航空修理器材

爆撃器材		雑器材		其他器材 (續)	
爆彈照準眼鏡	爆彈照準器	彈著觀測鏡	各種爆彈投下機	各種目標燈	爆彈運搬車
蓄電池試驗器	聚動機豫熱機	飛行機用給油機	飛行機用給水機	各種記録儀	各種眼鏡
同		同		同	
第一類ヲ除外 悉皆		第一類ヲ除外 悉皆		第一類ヲ除外 悉皆	

其他 器 材											
各種偏歪修正機	各種器械鋸	各種器械鉋	各種鋸盤	各種成形機	各種研磨機	各種送風機	各種回光機	各種無線電信電機	各種電氣測定器 (懷中電圧電流計ヲ除ク)		
各種充電機		各種聚動機 (飛行機用ヲ除ク)		足踏手動ヲ除ク							
						屬品豫備品材ヲ除ク					
第一類ヲ除ク 悉皆											

其他
器材

各種氣象記錄儀	各種風力計	各種クロノメーター	各種自記風速器	各種自記寒暖計	各種自記溫度計	各種氣壓計	各種晴雨計	各種顯微擴大鏡	各種寫真機	各種空氣壓縮機	各種動力測定器	各種發電機
---------	-------	-----------	---------	---------	---------	-------	-------	---------	-------	---------	---------	-------

右

同

第一類ヲ除ク
外皆

(四)

考	備
一 同(品種)基箇所ニ類別ヲ指定シタルモノハ他ノ兵器ニ付テモ同様ニ類別スルモノトス (例)ハ 観測車ノ電話機ハ通信器材ノ電話機ノ類別ニ從フモノトス 二 第一類兵器中主體ヲ構成スルモノ以外ノ部品ノ取扱ハ總テ第三類兵器ニ準ス	

(5)

附表第二(現行附表第三條)

兵器管理保管區分表

種 別	保 管 者		管 理 者	
	師 團 長 統 率 部 隊	臺 灣 軍 司 令 官 統 率 部 隊	獨 立 備 隊 旅 順 砲 兵 大 隊	憲 兵 隊
軍 隊 保 管 兵 器 (航空本部保管) (掌器材料等)	臺 灣 軍 司 令 官 統 率 部 隊	獨 立 備 隊 旅 順 砲 兵 大 隊	憲 兵 隊	教育總監部所管學校
學 校 保 管 兵 器 (航空本部保管) (掌器材料等)	飛 行 學 校	工 科 學 校	砲 兵 科 高 級 部 員	砲 工 兵 科 高 級 部 員
要 塞 司 令 部 保 管 兵 器	動 員 用 以 外	動 員 用 以 外	砲 兵 科 高 級 部 員	砲 工 兵 科 高 級 部 員
兵 器 部 保 管 兵 器	兵 器 部 長	兵 器 部 長	師 團 長 臺 灣 軍 司 令 官 關 東 軍 司 令 官	師 團 長 臺 灣 軍 司 令 官 關 東 軍 司 令 官
支 廠 (出張所) 保 管 兵 器	支 廠 長 (出張所長)	支 廠 長 (出張所長)	本 廠 長	本 廠 長
航空本部補給部支部保管兵器	航 空 本 部 補 給 部 長	航 空 本 部 補 給 部 長	航 空 本 部 補 給 部 長	航 空 本 部 補 給 部 長
軍隊學校保管航空本部保管器材	隊 長 校 長	隊 長 校 長	航 空 本 部 補 給 部 長	航 空 本 部 補 給 部 長

考 備

一、支那駐屯軍隊ノ保管兵器ハ直屬上官ノ管理ニ屬ス
 二、支廠以外ノ各部隊保管兵器ハ其ノ部隊備附ノ外動員計畫上貯藏ヲ擔任スルヲ部隊所要兵
 器ヲ包含シ該部隊ニ於テ本廠長管理兵器ヲ轉託保管スルトハ其ノ保管者ハ本表區分依
 三、動員スル官將ノ攜帶兵器ハ其ノ戰用兵器貯藏擔任部隊長(學隊司令官ニ在リテ)保管トス
 (砲兵科高級部員)保管トス

附表第三(現行附表第二修)

兵器廠管掌部隊區分表

兵器廠	管	掌	部	隊	管掌、範圍
東京兵器支廠	第一師管內ニ於ケル近衛及第一師團長及憲兵司令官隷屬外、諸部隊 第二師管內ニ於ケル第三師團長、教育總監及憲兵司令官隷屬以外、諸部隊並明野飛行學校				悉皆
名古屋兵器支廠	第四師管內ニ於ケル第四師團長及憲兵司令官隷屬外、諸部隊				悉皆
大阪兵器支廠	岡山衛戍地所在、諸部隊				悉皆
森本廠岡山出張所	第一師管內ニ於ケル第五師團長及憲兵司令官隷屬外、諸部隊				悉皆
廣島兵器支廠	第二師管內ニ於ケル第三師團長及憲兵司令官隷屬外、諸部隊				悉皆
小倉兵器支廠	小倉衛戍地所在、諸部隊				兵器表所定以外ノ彈藥

附表第四(新)

支給返納交換取扱区分表			
取扱部隊	取扱兵器、範圍	摘	
兵器部 (關東軍兵器部ヲ除ク)	所管部隊、兵器 師管内ニ於テ所管官ニアラサル憲兵司令官隷屬部隊及教導學校、兵器	兵器廠管掌、彈藥及要塞司令部所在地部隊、兵器表所定外彈藥ヲ除ク	
關東軍兵器部	師管(台灣、滿州)内ニ在リテ要塞司令部、第類交換兵器及現品交付兵器	朝鮮内ノ要塞司令部ヲ除ク	
關東軍兵器部	所管部隊、兵器(重砲兵隊演習用彈藥ヲ除ク)		
要塞司令部	滿州駐劄部隊用彈藥 司令部所在地部隊(振順ニ在リテハ重砲兵隊、之ノ兵器表所定以外、彈藥)		
備考	兵器部ニ於テハ航空部管掌器材、取扱ハ行ハサルモノトス		

附表第五

演習用彈藥個人支給定数表（歩兵聯隊）

現												
機 關 銃 隊 以 外												
役 種 階 級	士 官 准 士 官		見 習 士 官 少 尉 候 補 者		下 士 (輕 機 關 銃 掛 下 士)		輕 機 關 銃 掛 下 士		第 一 年 度 下 士 候 補 者		小 銃 手	
	初 年 兵	第 二 年 兵	初 年 兵	第 二 年 兵	初 年 兵	第 二 年 兵	初 年 兵	第 二 年 兵	初 年 兵	第 二 年 兵	初 年 兵	第 二 年 兵
小銃	六		四		八		五		一四		一四	
小銃					三		三		一		一	
小銃					一		一		五		五	
小銃									一			
小銃	八		六									
小銃												
小銃												
小銃												
小銃	八		八									
摘 要	拳銃實包八中隊、付一人トス						中隊、付五人トス				特別射撃、特別小銃、特別付十人トス、特別射撃、特別小銃、特別付十人トス、特別射撃、特別小銃、特別付十人トス	

役		機 關 銃 隊										役	
後 補 兵		士 官 候 補 生		幹 部 候 補 生		各 部 幹 部 候 補 生		短 期 現 役 兵		教 育 召 集 者		勤 務 演 習 召 集 者	
下		士 官		士		初 年 兵		第 二 年 兵		初 年 兵		第 二 年 兵	
實 包	小 銃	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
空 包	小 銃												
實 包	機 關 銃												
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃												
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一	一	一
空 包	機 關 銃												
實 包	機 關 銃	一	二	二	二	三	三	四	四	一	一</		

備	後 備 役				預 備 役			
	機 関 隊	機 関 隊	機 関 隊	機 関 隊	機 関 隊	機 関 隊	機 関 隊	機 関 隊
一本表ハ二年(召集期間)一八分ノ支給数トシ現役ノ者ニハ定員其他 ノ者ニハ現員ニ從ヒ支給ス但見習士官少尉候補者下士候補 者士官候補生幹部候補生各部幹部候補生短期現役兵	士官准士官見習士官	下士	兵卒	兵卒	士官以下	下士	兵卒	兵卒
	一五	一五	二五	二五	一五	一五	一五	一五
			二五	二五			六〇	六〇
							四〇	四〇
	秋本演習召集セラ レタル者ニハ小銃実包 一〇小銃実包五〇ヲ 支給ス	秋本演習召集セラ レタル者ニハ小銃実包 一〇小銃実包五〇ヲ 支給ス	秋本演習召集セラ レタル者ニハ小銃実包 一〇小銃実包五〇ヲ 支給ス	秋本演習召集セラ レタル者ニハ小銃実包 一〇小銃実包五〇ヲ 支給ス	秋本演習召集セラ レタル者ニハ小銃実包 一〇小銃実包五〇ヲ 支給ス	秋本演習召集セラ レタル者ニハ小銃実包 一〇小銃実包五〇ヲ 支給ス	秋本演習召集セラ レタル者ニハ小銃実包 一〇小銃実包五〇ヲ 支給ス	秋本演習召集セラ レタル者ニハ小銃実包 一〇小銃実包五〇ヲ 支給ス

考

ニ、現員ニ從ヒ支給シ學校分遣者ハ之レヲ控除スルモノトス

ニ、軍隊教育令附表第一備考第二ニ依ル被教育者ハ重機關銃實包、二、三ヲ支給ス

三、滿洲駐劄師團歩兵聯隊留守隊士官以下機關銃教育ニ要スル彈藥ハ本表ニ依リ支給ス

附表第五ノ二

現														役種階級		演習用彈藥個人支給定數表（騎兵聯隊）	
機 關 銃						機 關 銃 隊 以 外								摘 要			
重機關銃掛		輕機關銃手		輕機關銃掛		兵 卒		下		見習少尉候補者		士官准士官					
士官	士	士官	士	士官	士	初年兵	第二年兵	士官	士	士官	士	士官	士	士官	士	實包	小銃
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	一〇	八五	一〇	七五	三五	三五	五五	五五	五五	五五	實包	小銃
			二五			五五	五五		三〇							實包	小銃
			一〇			二五	二〇		一〇							實包	小銃
		三八〇	二六〇	一八〇	一二〇					五〇						實包	小銃
二〇	一〇															實包	小銃
二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	實包	拳銃
拳銃實包ハ拳銃携帶者ニ支給ス																	

[illegible]

役		以	卒	一	五	三
機 關 銃 隊 士 官	重 機 關 銃 掛 以 下					
一、本表ハ一年（一召集期間）一人分、支給數トシ現役、者ニハ定員、其他ノ者ニハ現員ニ從ヒ支給ス但シ見習士官、少尉候補者、士官候補生、幹部候補生、各部幹部候補生 ニハ現員ニ從ヒ支給シ學校分遣者ハ之ヲ控除スルモノトス 三、本表ノ外騎兵第十二、第十五、第二十五聯隊、一般中隊ノ下士候補者ニハ重機關銃實包、五。及輕機關銃實包、六。ヲ騎兵第十四、第十六、第二十四、第二十六聯隊、一般中隊、下士候補者ニハ輕機關銃實包、六。ヲ現員ニ從ヒ支給ス 四、本表ノ外軍隊教育令附表第四備考第三ニ依ル輕重機關銃被教育者ニハ輕（重）機關銃實包、一ニ〇。ヲ支給ス						

演習用彈藥個人支給定數表（步兵、騎兵、砲兵、工兵、電信隊、飛行隊、氣球隊、騎重兵隊）

種類	彈藥									
	小銃					包				
	現役	補充教育召集者	勤務召集者	豫後備役	現役	補充教育召集者	勤務召集者	豫後備役	現役	補充教育召集者
步兵隊	一五	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
騎兵隊	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
砲兵隊	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
工兵隊	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
電信隊	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
飛行隊	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
氣球隊	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
騎重兵隊	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇

一本表八一年（召集期間）一人分、支給數トシ現役ノ者ニハ定員、

備

其他ノ者ニハ現員ニ從ヒ支給スルモノトス但シ學校分遣者ハ之
ヲ除ス

三、准士官、見習士官、少尉候補者ハ士官ト同數ヲ支給ス

三、輜重兵隊ノ自動車手ニハ^(本表外)第二年度^(陸軍)自動車學校ヨリ歸
隊後)小銃實包「二」拳銃實包「一」ハ之ヲ支給ス

四、士官候補生ニハ現役兵卒ト同數ヲ支給ス但シ野山砲、
野戰重砲兵隊、高射砲隊及騎砲兵隊ノ者ニハ下士ト
同數ト^ニ野山砲、野戰重砲兵隊、高射砲隊及輜重
兵隊ノ者ニハ別ニ拳銃實包「一」ニ之ヲ支給ス

五、幹部候補生ニハ現役兵卒ト同數ヲ支給ス但シ野山砲、
野戰重砲兵隊、高射砲隊及騎砲兵隊ノ者ニハ下士ト
同數ト^ニ氣球隊、輜重兵隊ノ者ニハ別ニ拳銃
實包「一」ニ之ヲ支給ス

考

各部幹部候補生ニ兵卒ト同數ヲ支給ス但シ輜重
兵隊ノ者ノ小銃實包支給數ハ「一五」トス

附表第五、四

演習用彈藥隊支給定数表（砲兵隊ヲ除ク）

品目		隊別		包實			包空		包實鋼被			平射	
				小銃用	輕機關銃用	重機關銃用	輕機關銃用	重機關銃用	小銃用	輕機關銃用	重機關銃用	榴彈	代用彈
		步兵隊		中隊	機關銃隊		日	大	一三〇〇	一〇〇	（一〇〇）	一〇	一三〇
		騎兵隊		甲聯隊	中隊	機關銃隊	二五〇	一四〇〇	一〇〇	（一〇〇）			
		戰車隊		乙聯隊	中隊	二〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇	（一〇〇）			
		工兵隊				二〇〇	二〇〇〇	五〇〇	五〇	（一〇〇）			
		鐵道隊				六五〇			一〇〇				
		電信隊				三〇〇			一〇〇				
		氣球隊				二〇〇			五〇				
		輜重兵隊				三五〇			一〇〇				

[illegible]

備

二步兵隊ノ欄「内員數ハ近衛歩兵第一乃至第四聯隊ノ分ヲ騎
兵隊ノ欄「内員數ハ近衛騎兵聯隊ノ分ヲ示ス

三本表ノ外騎兵第十四、第十六、第二十四、第二十六聯隊ニ幹部教育
用トシテ輕機關銃實包「三〇〇、同空包「二四〇ヲ支給ス

四滿洲駐劄師團歩兵聯隊留守隊機關銃教育ニ要スル
彈藥ハ銃數ニ應シ步兵隊機關銃隊ノ率ニ依リ、其同隊歩
兵砲教育ニ要スル彈藥ハ二箇年間ニ平射歩兵砲代用
彈「四、同空包「四、豫備爆管「二、曲射歩兵砲代用彈「四、
同空包「四ニヲ支給ス

考

五本表ノ外歩兵砲不發彈破壊用トシテ舊式爆發罐「一、緩燃
導火索（一米五〇、散「二米ノモノ）「一及雷管「二ヲ支給シ尚不
足ヲ生スル場合ニハ兵器部或ハ兵器支廠ニ於テ増加支給
スルコトヲ得

六、演習用爆破用火藥火具ノ支給細目員數ハ附表第五ノ七ニ示
スモノニ依ル

附表第五

高射砲彈藥						野山砲(加十)(榴五十)彈藥					品目	演習用彈藥隊支給定數表(砲兵隊)
十		七糎半				空	代	榴	破	榴		
目	代	目	有孔	代	環		用	霰	甲			
標彈	用彈	標彈	代用彈	用彈	層彈	包	彈	彈	榴彈	彈	目	
						六〇〇	二一五	二四五		二五	野山騎砲兵	
						二五〇	一七〇	四〇	二〇		野戰重砲兵	
											重砲兵隊	
											高射砲兵	
四五	三六〇	一二〇	一五〇	一〇五〇	三〇	六〇〇						

一野山騎砲兵、野戰重砲兵及重砲兵八中隊一半年分、高	豫備品		緩燃導火索	擬砲 用無煙藥	爆包用 小粒藥	門 管	三呎式機 關銃彈藥		實包	三八式銃 實包	空包
	點火藥囊	爆管					實包	空包			
	一〇	一〇	一九〇	一四	一〇	六〇〇					
	五	五	一九〇	一四	一〇	二五〇					
							(一一〇)	五〇	(二〇〇〇)	一五〇	
	二五	二五					(一一〇)	五〇〇〇	五〇〇〇	一五〇	

備

射砲兵ハ一隊一年分、又括弧内員數ハ常用保管機關銃定數ニ對スル一銃一年分ノ支給數トス

ニ本表彈藥ハ彼此交換支給スルコトヲ得其換算率ハ別ニ示ス

三野戰砲兵(野戰重砲兵ヲ除ク)彈藥ノ信管ハ瞬發信管及短延

期信管各二五ヲ其他ハ三年式複働信管ヲ支給ス

四本表ノ外豫後備役士官射撃實習用トシテ野山砲

兵聯隊ニ代用彈九〇、獨立山砲兵聯隊ニ同三〇、

騎砲兵大隊及臺灣山砲兵大隊ニ同一五、野戰重砲

兵聯隊ニ同四〇ヲ支給ス

五本表ノ外不發彈破壞用トシテ舊式爆發發罐及

緩燃導火索(一米五〇、二米ノモノ)ヲ支給

彈藥ノ二百分ノ一(四拾五入)雷管ヲ同百分ノ一

考

支給シ尚不足ヲ生スル場合ニハ兵器部並ハ兵器
支廠ニ於テ増加支給スルコトヲ得

大藥筒ハ彈藥ト同數分ヲ支給ス但シ材料ニテ支
給スルモノノ中藥筒ハ藥莢ヲ除キ彈數ト同數
分ヲ支給ス又炸藥用小粒藥及裝藥ニハ概不
五十分ノ一管藥壓搾彈ニハ概不百分ノ一宛
豫備ヲ増加支給ス

附表第五ノ六

演習用彈藥支給定數表（諸學校）

品目	區分		步兵學校	騎兵學校	野戰砲兵學校	重砲兵學校	工兵學校	自動車學校	士官學校	教導學校
	實包	空包								
小銃彈藥	實包	空包	三五九四〇	四九二四〇	二四二〇	三五〇〇	三〇四〇〇		三六五二一	八〇〇八一
	實包	空包	三八八四〇	七〇五九〇		一〇〇〇	三〇〇〇〇		一三八八九	六四七七五
輕機關銃	實包	空包	四〇五三〇	五九〇五		一〇〇〇	九六〇〇		一五七一〇	一二三七〇
	實包	空包	三三四三〇	八四七七〇					三六三二〇	一五七五一〇
重機關銃	實包	空包	四三八九七六	七六〇七〇					九八九〇〇	一二二〇〇〇
	實包	空包	三五二三四〇	八八三六六	五〇〇〇	二〇〇〇			一三七〇〇	六五八二〇
二十六年式拳銃實包	實包	空包	二五一四〇	八七三二〇	二〇〇〇				三三〇〇〇	三七〇〇〇
	實包	空包	八五八〇	二二二〇			三〇〇〇		六六四〇	三八四〇〇
平射代用彈	實包	空包	六五五〇	三三七六	一五〇〇	三〇〇	六〇〇四	五〇〇〇	二〇八五	八二〇八
	實包	空包	八〇						二〇	三〇

野						曲射 歩兵砲				歩兵砲		
代用彈		照明彈	發煙彈	榴霰彈		榴彈 除信管 野砲用	空包	發煙彈	代用彈	榴彈	豫備爆管	空包
山砲用	野砲用			山砲用	野砲用							
							三八〇	五五	一八五〇	一六〇	七	四六〇
三五〇〇	二二〇〇			二〇〇〇	九五〇〇							
	五六一	十	五		三三六	二五	二四〇		一〇〇	四〇	四	一六〇
							二五〇		六〇〇	三〇	一〇	二五〇

戰 野			砲 (山)										
種	七		豫 備 爆 管	瞬 發 信 管	短 延 期 信 管	十 年 式 榴 彈 除信管		集 式 鋼 性 銃 榴 彈 除信管		空 包		代 用 彈 除信管 野砲用	
	有孔 代用 彈	代 用 彈				環 層 彈	山 砲 用	野 砲 用	山 砲 用	野 砲 用			
	四〇〇	二五〇	二五	一三〇	七〇〇	四三〇	二〇〇	四〇〇	一〇〇	一〇〇	一五〇	四二〇	一〇五〇

1266

四年、六十五			十冊加農						砲射高			
									十		半	
榴霰彈	鑄鐵破甲榴彈	破甲榴彈	豫備爆管	空包	代用彈	榴霰彈	榴彈	破甲榴彈	目標彈	代用彈	目標彈	率
三〇〇		三〇〇		二〇〇	四〇〇	一五〇		一五〇	六〇	三〇〇	二〇〇	
四〇	一〇〇	二五	七	五〇	二四〇	二五	二〇				五〇	二〇〇

海軍重砲	三八榴彈砲 縮射砲用彈藥	三八榴彈砲 縮射砲用彈藥	榴彈砲 堅鐵彈	四五式十五榴 榴霰彈	榴霰彈 代用彈	螺門管	尋常門管	爆包用小粒藥	擬砲(銃)火用無煙藥
代用彈	發煙彈	空包	豫備爆管						
一八〇	一三五〇								
一五〇	一〇	三〇〇	一二	一五三	一二〇	一二	六	一四	一三七

[illegible]

手投照明彈	狙撃砲			拳銃信號彈	線
	破甲榴彈	填砂彈	空包		
七五	一〇	五〇〇	三〇〇	一〇〇	二〇
三〇				二九〇	

備

一、本表二年分ノ支給數トス
 二、本表員數中ニハ學校附及分遣學生士官以下個人支給ノ分ヲ含ム
 三、工兵學校定數中ニハ電氣中隊所要ノ彈藥ヲ含ム

四、工兵學校電氣中隊ニハ現員ニ應ジ本表ノ外左ノ通支給ス

イ、幹部候補生ニハ各人小銃實包「三〇」、小銃空包「二五」狹
 窄射擊實包「一〇」、拳銃實包「二」

ロ、補充兵及豫後備役召集者ハ附表第五ノ三演習用
 彈藥個人支給定數表ノ電信隊ノモノニ準ス

五、野戰砲兵學校及士官學校野砲用空包中ニハ七種
 半野戰高射砲用ノ空包ヲ含ム

手投照明弾		緑	二〇							三〇
狙撃砲		半	一	一	一	一	一	一	一	一
拳銃		一	一	一	一	一	一	一	一	一
備		一	一	一	一	一	一	一	一	一
其換算率ハ別ニ示ス		一	一	一	一	一	一	一	一	一

考

擲彈筒及拳銃信號彈ノ種類ハ所要ニ應ジ請
求スルモノトス

本表ノ外不發彈破壞用トシテ舊式爆發罐及
緩燃導火索(一米五〇〇^釐又ハ二米ノモノ)ヲ支給彈
藥ノ百分ノ一(四捨五入)雷管ヲ五十分ノ一支
給シ尚不足ヲ生スル場合ニハ兵器部^又ハ兵器
支廠ニ於テ増加支給スルコトヲ得

九
演習用爆破用火藥火具細目員數ハ附表

第五ノ七ニ依ル

八
藥筒ハ彈數ト同數分ヲ支給ス

附表第五、七

演習用爆破用火藥火具細目員數表

品目	區分		騎兵中隊	工兵中隊	鐵道中隊	士官學校	騎兵學校	工兵學校
	小粒藥類	大粒藥類						
火藥				四三五	五〇	一〇〇		二九二〇
方形黃色藥	九			一三八五	四五	五二二	六五	六六五〇
圓形黃色藥				二〇〇	四五	二〇〇		五八〇
方形茶褐藥				三〇	二〇			九〇〇
圓形茶褐藥				三〇	二〇			五四〇
方形塩斗藥				三〇	二〇	二〇〇		九〇〇
圓形塩斗藥				三〇	二〇	一〇〇		五四〇
白金線信管(新)				二〇	一〇			五四〇
白金線信管(舊)	一〇			三一〇	八〇	一五〇	七〇	一四一〇
十年式爆破用雷管				八〇	二〇	一五〇		一八〇〇
爆破用雷管	三〇			九二〇	六〇	二八二	二八〇	三、〇〇〇

1222

考 備	緩燃導火索	米	一五	三八九	二〇	二〇七	一五〇	二三四〇
	速燃導火索	米		五〇〇	四〇	五〇〇		二五〇〇
	導火管	米	二〇	一五〇	一〇〇	二一五	九五	九〇〇
	點火管	米	三〇〇	三〇〇	二〇〇	四七	一〇〇	二〇五〇
	硝安藥	二聯 聯		二二・五	二二・五	九〇		五五〇
	ダイナマイト	聯		二二・五				二〇二・五
	カーリット	聯		二二・五		九〇		五五〇
	爆發罐		四	五四	二二・五	三二	四〇	三二四
	障礙物破壞筒	米		三〇		五		五〇
	一本表、外毎三年一回宛、請求ニ依リ「ダイナマイト」一〇〇聯、 爆破用雷管一〇〇個ヲ鐵道聯隊ニ増加支給ス 二騎兵中隊、騎兵學校ニ支給、方形黃色藥ハ當分ノ 内舊式騎兵用爆發管ヲ代用ス							

年度演習用彈藥請求表

昭和 年 月 日

部隊名

[illegible]

調製上注意

一、支給定数ハ換算スルト否トニ拘ラス全部ヲ記載スルモノトス

二豫後備役士官射擊演習用代用彈ハ支給定數及年度所要數中ニ合算シ其數量ヲ摘要欄ニ註記スルモノトス

三特ニ希望スル受領期日ハ摘要欄ニ記載スルモノトス

附表第七(現行附表三十二(二修))

昭和 年度現品交付兵器價格調査表							昭和 年 月 日 調
區							第 師團兵器部
分 部							局
野戰兵器							師
要塞兵器							團
輜重兵器							憲兵隊
工 兵 器 材							〃
計							〃
額							〃
差							〃
第三類兵器交換額引当							〃
調製上ノ注意							〃
一本表八前年四月以降調査當時迄ニ交付シタル兵器ノ價格ヲ記載スルモノトス							〃
二本廠ニ送付スヘキモノニハ明細表ヲ附スルモノトス							〃

昭和何年度演習用彈藥受拂明細表 昭和年月日調何隊學校

[illegible]

附表第九(現行附表第九修)

昭和 年度兵器及馬匹費使用計畫表

一金 内 譯 圖也

備用区分	費目別	格納兵器手入材料費	供用兵器手入材料費	工場注文新調修理費	工場新調修理費	市井新調修理費	彈藥完成材料費	備附物品新調修理費	職工備給費	工卒教育費	計
一	調製上ノ注意										
二	手入材料費ハ兵器手入ニ要スル消耗材料ノ費用トス										
三	工場注文新調修理費ハ工場ニ注文シ又ハ航空本部、鐵道材料廠ニ委託シタル成品、半成品修理兵器ニ要スル費用トス										
四	工場新調修理費ハ其ノ隊内工場ニ於テ新調修理ニ要スル材料(工場注文、成品、半成品ヲ除ク)ノ費用トス										
五	市井新調修理費ハ市井ニ注文スル兵器、新調及修理ニ要スル費用(他部隊ニ委託シテ調辦スルモノ、及修理スルモノヲ含ム)トス										
六	彈藥完成材料費ハ彈藥ヲ完成スル部隊ニ於テ調辦スル彈藥完成材料ノ費用トス										
七	備附物品新調修理費ハ兵器用物品(消耗品ヲ除ク)ノ新調修理ニ要スル費用トス										
八	職工備給費ハ職工ヲ備役スルニ要スル人件費トス										
九	工卒教育費ハ工卒教育ノ爲ニ要スル物品、新調修理費トス										

附表第十(新)定例報告通報一覽表

月別	項目	發送先	發送部隊	到着期日	調査期日	様式	摘
臨時	管理兵器検査成績、件 報告(通牒)	大臣	管理者				検査成績ニ意 見ヲ附ス
時	委託兵器検査成績、件 通牒	當該 管理者	受託部隊 所屬長官				同 右
二	第一類兵器亡失及毀損 員數調査表	大臣	本廠長	三月十番	一月一日	附表 二十	
二	現品交付兵器價格調 査表	陸軍省 本廠 給與本部	兵器部 本部	三月盡日	一月盡日	附表 七	
月	演習用彈藥消費殘數 調査表	大臣	本廠長	二月盡日	十二月一日	附表 二十一	
四	本廠長管理特別準備 兵器過不足表	大臣	本廠長	四月十日	三月十日	附表 十六	
月	總豫備主要兵器員數 表	大臣	本廠長	四月盡日	四月一日	附表 十五	
十	部隊所要兵器未補填 數調査表	大臣	本廠長 (係本廠長)	四月盡日	四月一日	附表 十九	
二	所要兵器過不足表	大臣	管理者	十月十番	十月一日	附表 十七	
月	同 要塞備附兵器過不足 表	大臣	管理者	同	同	附表 十八	
月	同 右副本	本廠長	同	同	同	同	

甲	隊長印	委員印首座	委員印	第一中隊
交 返	第10號兵器交 還納票			昭和2年2月10日
品 目	員 數	受 領 月 日	摘 要	
三十年式銃劍 帶	30	2月12日	分數交換爲交付以下 同シ	
同 劍	30	2月12日		
以上交付票記載例				
三十年式銃劍 帶	30	2月12日	分數交換爲返納以下 同シ	
同 劍	30	2月12日		
以上返納票記載例				
三十年式銃劍 劍	1	4月10日	何月何日何演習に失	
以上拂出票記載例				
調製上ノ注意 1. 本票ハ兵器交付返納及失兵器爲委員ハ中隊長ノ間ニ於テ用フ 2. 本票ハ委員附之ヲ調製シ委員認印ハ上隊長ノ認印ヲ受ケ乙片ヲ中隊長ニ送付ス 3. 現品ヲ授受シタルトキハ交付ニ在リテハ甲片受領月日欄ニ中隊長署名捺印ヲ受ケ 返納ニ在リテハ乙片該欄ニ委員署名捺印ヲ爲ス				

附表第十二(現行)附表第十四 兵器交付(返納)拂出票

1280

乙



第一中隊

交 還 第10號	兵器交 還納票	昭和2年2月10日
----------------	------------	-----------



品目 員数 受領月日 摘要

三十年式銃剣 帶 革	30	2月12日	分數交換為交納 同
同 劍 差	30	2月12日	

以上交付票記載例

三十年式銃剣 帶 革	30	2月12日	分數交換為交納 同
同 劍 差	30	2月12日	

以上還納票記載例





第一中隊



修第9號	兵器修理傳票	昭和2年7月1日
品目	修理品授受月日	摘要
乘鞍 除鞍褥	5 7月2日 (任工場長擔)	騎坐革綻3 居木破1 鞍骨折損2
三十二式銃劍 劍差	3 7月2日 (任工場長擔)	細革條切損
二十六式拳銃 囊	2 7月2日 (任工場長擔)	下部綻
麥袋	2 7月2日 (任工場長擔)	下部破

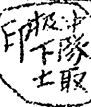
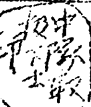
附表第十三(現行附表第十三修)
兵器修理傳票

調製上ノ注意

- 1 本票ハ兵器修理ノ爲中隊ト委員トノ間ニ用ル中隊以外ニ於テモ亦之ニ準ス
- 2 本票ハ中隊取扱下士工場毎ニ各別ニ之ヲ調製シ中隊長ノ認印ヲ受ケ乙片ハ委員ニ送付ス
- 3 委員ハ乙片ヲ工場擔任工長ニ交付シ修理品ヲ受領セシム
- 4 工場擔任工長修理品ヲ受領シタルトキハ修理品授受月日欄ニ所要記入ヲ爲シ甲片ニ受領印ヲ爲ス
- 5 委員ハ現品ヲ調査シ修理實施區分ヲ定メ乙片當該欄ニ記入セシメ委員首座ノ認印ヲ受ケ之ヲ工場擔任工長ニ交付ス
- 6 工場擔任工長ハ委員指定修理區分ニ從ヒ作業ヲ實施シ修理竣シタルトキハ委員検査ヲ受ケ完成品授受月日員數欄左端ニ委員ノ檢印ヲ受ケ
- 7 修理完成後中隊ニ現品ヲ受領シタルトキハ完成品授受月日員數欄ニ所要記入ヲ爲シ乙片ニ中隊取扱下士受領信證印ヲ爲ス
- 8 修理品ニシテ數工場經由ヲ要スルモハ中隊ヨリ現品ヲ受領サル工長ニ於テ適宜修理傳票ヲ發行シ乙片關係工場ニ送付ス但委員首座ノ認印ヲ要セス
- 9 其ノ地所在ノ軍隊ニ修理ヲ委託スル爲本票ヲ用タルトキハ餘白ニ送付スヘキ材料ノ品目員數ヲ附記ス

2821

乙

委員  		第一中隊		昭和2年7月1日	
修第9號	兵器修理傳票				
品目	員數	修理品授受月日	完成品授受月日	摘要	修理實施區分
乘鞍 除鞍褥	5	7月2日	 7月8日4 	騎坐革綻3 居木破1 鞍骨折損1	1工廠
三十年式銃劍 差	3	7月2日	 7月8日3 	細革條1刀	
二十六年式銃 囊	2	7月2日	 7月10日2 	下部綻	
麥袋	2	7月2日	 7月8日2 	下部破	交換



鞍工場

三八式銃實包 弾彈子銃國共 單位 年度配當數 20,000

委 員	中 隊 長	月 日	目 途 高	中 隊 受 取 扱 下 印	首 座	委 員	中 隊 長	射 耗 彈 數	返 毀 損 彈	不 發 彈	殘 彈 共	打 藥 英	殼 挿 彈 子	委員 附 受 領 印	配 當 數 増 減	配 當 殘 數	摘 要
印	印	12月 10日	1000	印	印	印	印	881	2		117	880	176	印		19119	初年基本射撃第一習 會樂英、17紛失

調 製 上 の 注 意

- 1 本簿ハ委員ト中隊長トノ間ニ於テ演習用彈藥ヲ授受スルニ用フ
- 2 本簿ハ各中隊毎ニ區分シ委員之ヲ保管ス
- 3 配當數ニ増減アルトキハ配當増(減)數欄ニ増(減)數ヲ記入シ配當殘數ヲ増減ス
- 4 中隊ニ於テ演習用彈藥ヲ使用セバトスルトキハ中隊取扱下士本簿ヲ委員ヨリ受領シ所要ノ記
入ヲ爲シ中隊長ノ認印ヲ受ケ委員ニ請求ス委員ハ本簿ニ認印上現品ヲ交付ス中隊取扱
下士委員ヨリ現品ヲ受領シタルトキハ当該欄ニ證印ヲ爲ス
- 5 射撃ヲ了シタルトキハ中隊取扱下士ハ射耗彈數、返納員數、配當殘數及摘要ニ所要ノ記入ヲ
爲シ中隊長ノ認印ヲ受ケ現品ヲ返納シ委員附、證印ヲ受ケ之ヲ委員ニ返納ス委員ハ此
之ニ捺印シ上首座ノ認印ヲ受ケ
- 6 小銃實包以外ノモノニ在リテモ本様式ニ準スルモノヲ用フ
- 7 本表ノ目途高ト殘彈、差ヲ以テ演習用彈藥受拂簿、拂數ト爲シ毀損彈、不發彈、打
殼藥英同挿彈子ハ演習用彈藥受拂簿中ノ別口座ニ受入ル

附表第十二(現行附表第十一)演習用彈藥授受簿

三 八 式 榴 弾 藥 筒
野 砲

品 目 月 日 完 成 数	榴 弾 丸	小 粒 藥	管 藥	藥 莢	一 號 帶 火 藥	支 枚	三 角 紙	點 火 藥 囊	四 式 藥 莢 爆 管	三 年 式 複 動 爆 管	受 領 印	摘 要	作 業 擔 任 委 員 印	彈 藥 出 納 委 員 印	本 員 首 座 印
4月 15日	高 目 途 100	15K 200	850	110	65K 200	110	110	110	110	110	印		印	印	
100	量 使 用 100	11K 200	803	100	60K 300	100	101	100	100	100			印	振	
	数 送 納 0	3K 800	47 振	10	4K 700	10	9 振	10	10	10	印				
	高 目 途														
	量 使 用														
	数 送 納														

調 製 上 の 注 意

1. 本簿ハ彈藥出納ノ管リ委員ノ作業ヲ担任スルニ限リ、演習用彈藥完成材料(火藥火具)ノ授受ニ限リ
2. 演習用彈藥完成作業ヲ為サントスルハ作業担任下ニ本簿ヲ委員ノ授受ノ所ニ持入リ、其ノ作業担任委員ノ認印ヲ受ケ出納委員ニ請求ス
3. 作業中毀損品ヲ生シタルトキハ使用量中ニ加算シ、送納数中ニ明記ス
4. 日毎作業完了後作業担任下ニ本簿ヲ持入リ、其ノ残量ヲ送納委員ノ認印ヲ受ケ、之ヲ出納委員ニ送交ス。委員ハ所定ノ信紙ヲ貼リ、之ニ捺印シ、首座ノ認印ヲ受ケ
5. 本簿使用量ハ演習用彈藥完成材料受拂簿ニ完成彈藥数ハ演習用彈藥受拂簿ニ受拂ノ已入ヲ為ス

附表第十三(現行附表第十三條)演習用彈藥完成材料授受簿

1285

昭和二年 陸軍省第	月 日 號	兵器返納證票		昭和二年 陸軍省第	月 日 號
返第 1 号		費目 軍事費 兵器及馬匹費		昭和二年 1 月 10 日	
受領隊 第一師團 兵器部		發送隊 騎兵第一聯隊			
長	①	首座	②	委員	③
品 目		質 數	摘 要		
三十年式 野戰勒頭絡		30	定數外兵器費價滿以同シ		
同 韁		120			
三十年式 水 囊		40			
同 麥 袋		50			
調 査 上 ノ 注 意 1 本表ハ兵器又ハ兵器用材料ノ送達、支給、返納、修理、新調、借用ノ爲各部隊間ニ於テ用ル 2 本表中欄外ノ記事ハ軍隊ニテ發行ノモハ授受月日以外ヲ省略ス 3 本表ハ關係部隊相互間甲希ハ乙ニ於テ發行スルモノシテ重複發行スルコトナシ 4 單位ノ紛ハシキモノハ員數欄ニ記入ス					

附表第三
(現行附表第十三修)
兵器(兵器材料)(返納)(送達)(支給)(修理)(新調)(借用)證票
授受 月 日 場所

[illegible]

授受
月
日
場所

昭和 年
陸軍省第

昭和 年 月 日
陸軍省第 号

兵審返納證票

昭和 年 月 日
天春木版第 号

丙

返第 1 号

費目 軍事費 兵器及馬匹費

日五廿月年，月10日

第一師團兵器部

騎兵第一聯隊

木索，兵器受領候也

領事館

品

四

三

數

椅

三十年式奧 野繫勒頭絡

30

定數外兵器東填爲以下同

同

華夏

120

三十年式奧水

囊

40

वि

琴

代

50

凌者印

名

名	稱	兵器部 軍務課 兵器科 兵器班 兵器股 兵器組 兵器隊 兵器營 兵器團 兵器旅 兵器師 兵器軍	樣式	保存 年限	備註
兵器受拂配當簿	○	○	附表 第三十三	十年	軍務課附ノモノニ在リテハ年時用ノ兵器用ノモノヲ含ム兵器ヲ記帳ス 兵器部備附ノモノニ在リテハ軍隊備用兵器及定例用兵器ヲ記帳ス
演習用彈藥受拂簿	○	○	同 第三十五	同右	演習用彈藥受拂簿ニ限リテハ年時用ノ兵器用ノモノヲ含ム兵器ヲ記帳ス
戰用兵器受拂簿	○	○	同 第三十四	同右	戰用兵器ノ受拂ヲ記帳シ機密取扱トス
兵器受拂簿	○	○	同 第三十五	同右	戰用兵器ノ受拂ヲ記帳シ機密取扱トス
演習用彈藥受拂簿	○	○	同 第三十五	同右	演習用彈藥受拂簿ニ限リテハ年時用ノ兵器用ノモノヲ含ム兵器ヲ記帳ス
物品出納簿	○	○	同 第三十五	同右	演習用彈藥受拂簿ニ限リテハ年時用ノ兵器用ノモノヲ含ム兵器ヲ記帳ス
現品交付兵器受拂簿	○	○	同 第三十五	同右	演習用彈藥受拂簿ニ限リテハ年時用ノ兵器用ノモノヲ含ム兵器ヲ記帳ス
兵器材料證書綴	○	○	附表 第三十三	三年	兵器ト兵器材料(破品及半成品其他新調修理手入要スル材料)トヲ區分ス
兵器交付及納拂出票綴	○	○	同 第三十二	同右	中隊毎ニ區分ス
兵器修理傳票綴	○	○	同 第三十二	同右	同右
演習用彈藥受拂簿	○	○	同 第三十二	同右	同右

演習用彈藥	完成材料接受簿	倉庫記錄	工場記錄	兵器履歷表	諸規定綴	火藥庫觀測表	兵器制式圖文書	訓令訓示講評綴	發翰來翰綴	委員業務綴	教育書類綴	兵器使用計畫並實施 ニ関スル書類綴
▽	▽	▽		▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
▽	▽	▽		▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
			▽									
同 第十三				各履歷 規則ニ 依ル								
同右	二年	同右	同右	兵器履 歷表	永久	十年	永久	五年	毎 年 末 整理 シ テ 一 時 ノ 区 分 シ テ 一 時 モ ハ 用 済 後 廢 棄 ス	三年	二年	同右
兵器庫ハ工場ニ於ケル作業ノ記錄ニシテ將來ノ參考ト ナルベキ事項ヲ記載シテ委員ハ所要ニ應ジテ之ヲ點檢認印ス 手入及修理ニ要セシ部品材料等統計上必要ナルモノハカメ テ之ヲ明記スルヲ要ス						軍隊ニ在リテハ砲兵隊ノミニ備附ク	制式圖取扱法、構造要領類、制式ニ關スル發翰來翰綴ハ 各別ニ整理保管ス但發翰綴ハ毎年末ニ整理シ永久ノ モノト一時ノモノト區分シ一時モノハ用済後廢棄ス	兵器業務ニ關スルモノニ限ル	制式ニ關スルモノヲ除ク	兵器業務上將來ノ參考トナルベキ重要事項ハ凡テ記載ス	工長及主任ノ教育計畫並實施ニ關スル諸件ヲ集録ス	

兵器手入検査其他諸計畫 茲實施ニ関スル書類綴	▽	▽			同右	永久ノモノニ在リテハ必要ノ期間ニ保存シ置クモノトス
備考	一 本表以外ノ備附書類ハ軍隊内務書ニ依ル但シ物品會計ニ関スル簿表備附ハ陸軍會計簿表 規定ニ依ルモノトス 二 ◎ 兵器部備附軍隊保管 兵器受排配當簿ヲ除ク ハ第十三條第十六條ニ示ス主要帳簿トス					

附表第十五 (現行) 陸軍表第十五

總豫備主要兵器員數表

昭和

陸軍兵器部

品目

現在数

製作總員数

計

摘

要

調製上ノ注意

一、本表ハ其ノ本意ニ準テ兵器ノ種類、構造、性能、用途、使用、保管、修理、検査、教育、訓練、研究、開発、生産、消費、廃棄、処分、その他ノ事項ヲ記載ス。
二、本表ハ兵器ノ種類、構造、性能、用途、使用、保管、修理、検査、教育、訓練、研究、開発、生産、消費、廃棄、処分、その他ノ事項ヲ記載ス。
三、本表ハ兵器ノ種類、構造、性能、用途、使用、保管、修理、検査、教育、訓練、研究、開発、生産、消費、廃棄、処分、その他ノ事項ヲ記載ス。
四、本表ハ兵器ノ種類、構造、性能、用途、使用、保管、修理、検査、教育、訓練、研究、開発、生産、消費、廃棄、処分、その他ノ事項ヲ記載ス。
五、本表ハ兵器ノ種類、構造、性能、用途、使用、保管、修理、検査、教育、訓練、研究、開発、生産、消費、廃棄、処分、その他ノ事項ヲ記載ス。
六、本表ハ兵器ノ種類、構造、性能、用途、使用、保管、修理、検査、教育、訓練、研究、開発、生産、消費、廃棄、処分、その他ノ事項ヲ記載ス。
七、本表ハ兵器ノ種類、構造、性能、用途、使用、保管、修理、検査、教育、訓練、研究、開発、生産、消費、廃棄、処分、その他ノ事項ヲ記載ス。
八、本表ハ兵器ノ種類、構造、性能、用途、使用、保管、修理、検査、教育、訓練、研究、開発、生産、消費、廃棄、処分、その他ノ事項ヲ記載ス。
九、本表ハ兵器ノ種類、構造、性能、用途、使用、保管、修理、検査、教育、訓練、研究、開発、生産、消費、廃棄、処分、その他ノ事項ヲ記載ス。
十、本表ハ兵器ノ種類、構造、性能、用途、使用、保管、修理、検査、教育、訓練、研究、開発、生産、消費、廃棄、処分、その他ノ事項ヲ記載ス。

備考

昭和 年度本廠長管理特別準備兵器過不足表 昭和 年三月十日 陸軍兵器本廠

附表第十六(現行附表第十六修)

保管部隊	品目 區分											備考
		所要數	現在數	過(不足)	所要數	現在數	過(不足)	所要數	現在數	過(不足)	所要數	
東京支廠												運送船用 臨時要塞用
大坂支廠												特別補給用 何々
廣島支廠												何々
關東軍兵衛												
計												
摘要												

調製上ノ注意

1. 本表ハ年度軍需工業動員計畫計令一依リ平時の整備スルモノヲ記載ス
2. 本表ハ野戰兵器(兵器彈藥兵器各別表)要塞兵器(兵器彈藥兵器各別表)中隊兵器(兵器彈藥兵器各別表)航空本部管掌器材(航空本部管掌器材)及航空本部管掌器材ニ屬シ各別表ニ記載ス但シ彈藥ニハ完成品目ヲ記載ス其ノ他ハ總テ其ノ部品ヲ記載スルモノナシ
3. 兵器細目名稱表ニ依リ組數ヲ明瞭ニモハシ組數ニ記載ス但シ組數不足スルモノハ別表ニ其ノ品目員數ヲ列記ス
4. 備考欄ハ保管箇所毎ニ其ノ虎當區分ノ大要ヲ記載ス

昭和何年度所要兵器過不足表 昭和何年十一月一日調

保管部隊	品 目 分	見習士官刀	騎兵見習士官刀	至三式軍刀乙	喇叭					備考
兵器部	所要数			80	1					
	現在数			80	1					
	過(不足)									
歩兵第何聯隊	所要数	10			25					
	現在数	10			25					
	過(不足)									
何 隊	所要数		3		9					
	現在数		3		9					
	過(不足)									
累 計	所要数									
	現在数									
	過(不足)									
摘要		調製上ノ注意 1. 本表所要数ハ兵器表甲號突数列年度動員計畫上ノ 充當数ヲ控除セルモノヲ記載ス 2. 本表現在数ハ年度動員用所要兵器過不足表記載ノ 現在数以外ノ保管兵器ヲ記載ス但シ兵器表以 外ノ保管兵器(第十一條第二項及第十四條ニ依ル モノヲ除ク)ハ本表末尾ニ記載ス 3. 品目名稱ハ兵器表ニ依ル但シ兵器種ニ依リ部品ヲ 異ニスルモノニ在リテハ之ヲ區分記載ス 4. 現在数中代表品アルトキハ其ノ種類員数ヲ記 載ス 5. 前各號ノ外附表第十六調製上ノ注意2及3ヲ適用 ス但シ彈藥ニ在リテモ一般兵器ニ準スルモノトス 6. 學校保管兵器ハ各學校毎ニ別紙トス								

附表第十七(現行附表第十七ニ修)

要塞備附兵器過不足表甲

昭和何年土月日
何要塞司令部

[illegible]

要塞備附兵器過不足表乙其一

調表上ノ注意

定數外ニシテ砲臺備附類ニ具引充メ、モ、アルトキハ所在及品目買數ヲ記入ス

品目中隊備交換品及彈藥等、如キ砲種ニ樹リ異ナルモノハ其ノ計數數ニ内詳ヲ記入ス

以上、外甲表ニ添テス

[illegible]

附表第十八之三（現行附表第十八之三）

要塞備附兵器過不足表乙其二

昭和元年十月一日詔
何要塞司令部

[illegible]

附表第十九

(現行附表第十九修)

部隊所要兵器未補填數調査表

昭和

陸軍兵器本廠

品

目

未補填數

摘

要

調査表上ノ注意

一本表ハ動員用兵器平時用兵器要塞備附兵器本廠長管理特別準備兵器(以上各別冊トス)當該年度所要數ニ對シ調査當日迄ノ未補填數ヲ掲上スルモノトス
ニ摘要欄ニ補填計畫ノ概要ヲ記載スルモノトス

附表第三(現行附表第五修)

第一類兵器之失及毀損員数調査表

昭和 年 月 日 調
陸軍兵器本部 廠

所
管
品
目

調製上ノ注意

一 本表ノ調製ハ附表第十五ニ據ル

二 本表ニハ毀損ノ原因ニ關シ將來參考トナルヘキ統計表ヲ添附スルモノト人例ヘハ銃類
ニ在リテハ膨脹・磨滅・裂傷・腐蝕等及火砲ニ在リテハ膨脹・腐蝕・磨滅等ニ區分シ
發射彈數要スレハ支給期日等ヲ記載スルカ如シ

計

附表第二十一(現行附表第二十一修)

昭和

年度演習用彈藥消費殘數調查表

昭和 年十月一日調
陸軍兵器本廠

				品
				目
				支
				給
				数
				拂
				数
				返納数摘要

調製上、注意

一、本表ハ野戰、要塞彈藥毎ニ調製スルモノトス。
ニ、砲彈類及空包等ノ如キモノニ在リテハ何發トシ部品ニ區分セサルモノトス。

附表二十三（現行附表第三三修）

他部隊ニ分遣スル下士兵卒携行兵器表

分遣先

携行スヘキ兵器

憲兵司令部（練習所）

憲兵隊

陸軍教化隊

陸軍戸山學校

陸軍歩兵學校

陸軍騎兵學校

陸軍野戰砲兵學校

陸軍重砲兵學校

陸軍工兵學校

陸軍通信學校

陸軍飛行學校

平時携行帶兵器悉皆小銃
携行者ハ外ニ小銃擬製彈
一五ヲ携行ス但シ陸軍工
兵學校電氣中隊派遣
者ハ小銃及同擬製彈ヲ
除ク喇叭等ヲ在リテハ除ク

陸軍士官學校	陸軍教導學校	陸軍幼年學校	陸軍經理學校	陸軍自動車學校	陸軍工科學校	陸軍被服廠	衛戍病院	陸軍軍醫學校	陸軍獸醫學校
軍刀又ハ銃劍									

三八式歩兵銃
(華具属品ヲ除ク)

單位

年月日 記號	受拂 月日	受拂 箇所	所要数	受数	排数	配當 数	現在数			所要数=		摘要
							供用	在庫	計	過	不足	
前葉	締高		1,000	950			250	700	950		50	
2年6月1日 交第10号	6月2日	第一隊				150	400	550				
2年6月1日 交第10号	6月2日	第二隊				150	550	400				
2年6月1日 交第10号	6月2日	第三隊				150	700	250	950		50	
2年6月3日 送第105号	6月7日	總部		50			700	300	1,000			不足補填爲
2年7月3日 交第11号	7月4日	第一隊				200	750	250	1,000			50箇配當増 加
年月日 第 号	月 日											

調製上ノ注意

1. 所要数ハ兵器表ノ平時定数ヲ掲ク
2. 年月日記號欄=ハ傳(證)票年月日番號ヲ所要数改正等=在リテハ關係連ノ年月日番號ヲ記入ス
3. 各中隊ノ最近配當数ヲ容易=発見シ得ル爲某中隊=二回以上ノ受拂アルキハ前受拂箇所ノ本欄中隊號上=印ヲ捺スルモノトス 所要数ノ改正セラレタルトキ亦同シ
4. 品目名稱ハ兵器細目名稱表=依リ必要=應シテ區分シ其順序ハ兵器表=依ル
5. 締高ノ欄ハ取扱上所要ノ部分ノミヲ記入ス
6. 單位名稱ハ組又ハ度量衡單位等 必要アルモノ外之ヲ省略ス
7. 前名號ノ外記牒=關シテハ陸軍會計簿表規程=準據スヘシ但シ年度締切ノ記帳ヲ省略スルモノトス
8. 第三類兵器ノ定数外ハ適宜ノ表=記載スルコトヲ得

年月日 第 号												
追次締高												

附表第三(現行附表第三由修)兵器受拂配當簿

三八式歩兵銃							單位		
年月日 記 號	受拂月日	受拂 箇所	所要数	受数	拂数	現数	所要数=對 スル 過 不足		摘要
前葉締高			8293	8/20		8/30		163	
2年4月11日 兵第80號	4月20日	兵器部		100		8230		63	不足補填 為
年月日 第 號									
年月日 第 號									
年月日 第 號									

調 製 上 の 注 意

- 所要数ハ年度動員計畫上貯藏ヲ擔任スル員数ヲ揚ク但シ
平時用ヲ戰時部隊ニ充當スヘキモノニ在リテハ其ノ員数
ヲ減シタルモノヲ揚ク
- 本簿巻首ニハ部隊區分ニ依ル所要数ヲ添附ス
- 西日名稱ハ兵器表ニ依ル兵種ニ依リ部品ヲ異ニスルモノ
(野砲兵用、重砲兵用、工兵用等)ニ在リテハ之ヲ區分記
載ス
- 前記ノ外調製ニ就テハ附表第=十三ニ準ス

年月日 第 號									
年月日 第 號									
追 次 締 高									

附表第二十(現行)附表第五(戰用兵器受拂簿)

三八式銃實包(掃彈子紙函共)					單位	
證票年月日 部號	受拂月日	受拂箇所	受数	拂数	現在数	摘 要
前 葉 締 高						
2年12月10日 送第1號	12月12日	兵器部	150,000		150,000	
年 月 日 第 號	12月12日	第一中隊		200	149,800	拂数中毀損及不発弾10
年 月 日 第 號	12月15日	第二中隊		882	148,918	拂数中毀損及不発弾20
年 月 日 第 號	12月22日	第一中隊		910	148,008	拂数中毀損及不発弾5
2年1月10日 送第2號	1月13日	兵器部	35		148,043	毀損及不発弾交換1為 (第一中隊5第二中隊20)
年 月 日 第 號	1月21日	第二中隊		573	147,470	

附表第五 戦用兵器受拂簿

製 上 の 注 意

1. 本例ハ演習用彈藥受拂簿中三八式銃實包(銃實包ヲ機關銃實包ト區分シ記帳スルヲ要ス)受拂例第一葉ヲ示シタルモノニシテ不発及毀損品ハ別口座ヲ設ク
2. 供用兵器受拂簿ノ出納ハ兵器交付、返納拂出票ニ、演習用彈藥受拂簿ノ出納ハ發票、演習用彈藥完成材料授受簿及演習用彈藥授受簿ニ、演習用彈藥完成材料受拂簿ハ發票及演習用彈藥授受簿ニ依リ記入ス

年 月 日 第 號					
年 月 日 第 號					
年 月 日 第 號					
追 次 締 高					

三八式騎銃及三十二年式軍刀

配當年月日	銃番號	刀番號	配當者氏名	摘要
2年12月1日			某	何年何月何日何カ依リ返納
2年12月1日	25.016	25.002	某	
年月日				

附表第二十六(現行) 附表第二十七 兵器配當簿

調製上ノ注意

1. 本簿ハ中隊ニ於ケル銃劍及軍刀等ノ配當ニ用ヤ
2. 摘要欄ニハ亡失又ハ返納ニ関シ其ノ年月日及理由ヲ記入ス
3. 亡失返納シタルトキハ其ノ欄ヲ抹殺ス
4. 本簿ハ適宜表ヲ以テ代用スルコトヲ得

年月日				
年月日				